

令和4年度 事業報告書

公益財団法人三重県産業支援センター

令和5年6月

1 経営基盤の強化

- 【1】 (国) よろず支援拠点事業
- 【2】 (国) 事業承継・引継ぎ支援センター事業
- 【3】 (県) 三重県事業承継ネットワーク運営事業
- 【4】 (県) ステップアップ経営向上計画支援事業
- 【5】 (県) プロフェッショナル人材戦略拠点運営事業
- 【6】 (県) 果実運用型ファンド活用促進事業
- 【7】 (県) 地域資源活用支援施策普及啓発事業
- 【8】 (県) 海外ビジネス展開支援事業
- 【9】 (自) 小規模企業者等設備貸与事業
- 【10】 (自) 小規模企業者等設備貸与支援事業
- 【11】 (県) 小規模企業者等設備資金貸付事業
- 【12】 (県) 事業共同化等連携事業等促進診断事業
- 【13】 (国) 中小企業再生支援事業
- 【14】 (国) 経営改善計画策定支援事業
- 【15】 (県) 生産性向上・業態転換支援補助金事業

(国)	国費
(県)	県費
(市)	市費
(自)	自主財源

経営支援課
4,5,6,7,8,15,16,19,27
よろず支援・事業承継課
1,2,3
技術支援課
17,20,21,25
中小企業支援課
18,22,23,24,26,28,29
中小企業活性化協議会
13,14
総務企画課
31,32,33,34
庶務経理課
9,10,11,12,30

2 販路開拓

- 【16】 (国) 中小企業地域資源等活用促進事業
- 【17】 (県) 航空宇宙産業参入促進事業
- 【18】 (市) 成長分野等新分野ものづくり・販路開拓支援事業
- 【19】 (県) ものづくり企業の取引拡大強化支援事業

3 新事業・新技術の創出

- 【20】 (国) 知財総合支援窓口事業
- 【21】 (国) 地域中小企業外国出願支援事業
- 【22】 (県・市) ものづくり中小企業DX推進事業
- 【23】 (県) 先端産業分野等企业支援事業
- 【24】 (国) 地域DX促進活動支援事業
- 【25】 (国) 成長型中小企業等研究開発支援事業

4 人材確保・育成

- 【26】 (市・自) 化学・プロセス産業人材育成事業
- 【27】 (県) 地域活性化雇用創造プロジェクト事業
- 【28】 (県) カーボンニュートラル実現に向けたDX寺子屋事業
- 【29】 (自) 三重ものづくり改善インストラクター養成塾事業

5 情報提供

- 【30】 (県) 中小企業支援センター等事業
- 【31】 (県) 中小企業特定支援等事業
- 【32】 (自) 工業技術振興事業
- 【33】 (自) 特別情報提供事業

6 法人会計

- 【34】 (県・自) 法人会計事業

年度	番号	財源	事業名	事業費(単位:千円)	継続・新規
令和4年度	1	国	よろず支援拠点事業	67,758	継続
			前年度事業名	事業費(単位:千円)	前年度比
			同上	60,480	7,278

事業概要	実績			
1. 国が設置した経営相談所。 2. 売上拡大や経営改善等の課題解決に向けて、一歩踏み込んだ専門的な提案を行う。 3. 課題解決に向けて相談内容に応じた支援機関の紹介や課題解決に対応した支援機関の相互連携をコーディネートする。 <3つの活動ポイント> ①総合的・先進的な経営アドバイスを提供 ②課題解決に合わせたチームを編成 ③課題に応じたワンストップサービス	目標	実績	達成率	
	1. 相談対応件数	11,000件	9,633件	87.6%
	2. 来訪相談者数	2,200者	1,861者	84.6%
	3. 課題解決件数	660件	564件	85.5%
	4. ネットワーク活動件数	700件	642件	91.7%

取組内容

- 中小企業・小規模事業者にとって「身近で気軽に行ける無料の経営相談所」として、津本部・桑名、松阪サテライト・出張相談会（商工団体等）・セミナー開催等を通じてワンストップの相談体制を構築した。
- 産業支援センター内部署・商工団体・金融機関との連携を強化し、ネットワークの力を引き出した。
- 専門分野の異なる複数コーディネーターがチームで相談対応したことにより、課題対応力が高度化した。
- よろず支援における相談支援事例紹介を目的とした「WEB成果事例報告会」を開催した。自治体・商工団体・金融機関をはじめ多くの参加者があった。
- 伴走支援先を8先選定し、長期的視野で事業者の課題解決に向けての支援を行った。



セミナーの様子(桑名三重信用金庫)



オンライン相談の様子(センター会議室)

満足度調査・ヒアリング結果	評価された意見・寄せられた要望等
<p>■ 満足度調査結果</p> <p> ■ 満足 69.9% (69.0%) ■ やや満足 24.3% (24.9%) ■ やや不満足 4.2% (4.5%) ■ 不満足 1.7% (1.6%) ()は全国平均 </p>	<ul style="list-style-type: none"> 相談者の満足度は、満足・やや満足を合わせて94.2%であり、全国平均の93.9%を上回る高い評価を得ている。 「またよろず支援拠点に相談したいと思いますか」という質問に対して、「また相談したい」という回答が91.5%あり、相談者のリピート率も高い。 初めて相談した事業者からは、「よろずをもっと早くから利用しておけばよかった」との声が多く寄せられており、認知度の更なる向上が必要である。

課題と対応方針、次年度展望

- 実施機関内専門部署・商工団体・金融機関・自治体との一層の連携強化
- コロナ収束に伴う相談者の減少を踏まえ、新規相談者の増強を図る・・・商工団体・金融機関への訪問活動強化
- 経営力再構築伴走支援の充実
- 複数専門コーディネーターのチーム編成による課題解決力の強化
- デジタル化関連の相談体制強化

担当課	関係機関等
よろず支援・事業承継課	経済産業省 中部経済産業局

年度	番号	財源	事業名	事業費(単位:千円)	継続・新規
令和4年度	2	国	事業承継・引継ぎ支援センター事業	93,497	継続
			前年度事業名	事業費(単位:千円)	前年度比
			同上	96,989	▲ 3,492

事業概要	実績		
	目標	実績	(達成率)
ネットワーク構成機関が実施する事業承継診断を行う中で、エリアコーディネーターが掘り起こした案件等について、専門家の活用等により、詳細な事業承継計画の策定を支援する。後継者不在の場合には、第三者への事業譲渡などの承継支援を行う。 また、事業承継の阻害要因である借入金にかかる経営者保証解除に向けた支援を行うとともに、ネットワーク拡大によるビジネスマッチング等のシナジー効果を高めるため、後継者・若手経営者の育成を目的とした経営塾を開催する。	1 新規相談件数(親族内)	136件	160件 (117.6%)
	2 新規相談件数(譲渡)	146件	185件 (126.7%)
	3 成約件数(親族内)	19件	21件 (110.5%)
	4 成約件数(譲渡)	39件	32件 (82.1%)
	5 事業承継診断件数	2,846件	4,171件 (146.6%)
	6 経営者保証業務支援申請件数	99件	105件 (106.1%)
※参考:3年間 支援申請件数 280件、経営者保証解除件数 112件			

取組内容
<p>1 支援対象事業者の掘り起し</p> <p>①金融機関との連携 エリアコーディネーターが中心となり、県内金融機関の全営業店を訪問し、情報収集、営業担当者向け勉強会および事前相談会の開催、金融機関からの要請による訪問</p> <p>②商工会・商工会議所との連携 エリアコーディネーターが中心となり、事業主及び経営指導員の要請に基づいた訪問、情報交流、定例・臨時相談会を実施</p> <p>③センター内各拠点との連携 よろず支援拠点、中小企業活性化協議会、プロ人材、北勢支所他との連携を強化</p> <p>④DMの発信・セミナーの開催</p> <p>2 支援対象事業者の支援</p> <p>①専門家による支援</p> <p>②既登録案件のフォローアップ(二次対応(19件)・三次対応(314件)への移行と成約案件の増加)</p> <p>③マッチングコーディネーターの追加登録(3社)と活用</p> <p>④各種データベース(事業引継ぎDB・NNDB)の活用(NNDB登録件数50件)とセンター間マッチング等(成約9件)による支援</p> <p>⑤「後継者人材バンク」による創業希望者と後継者不在の中小企業・小規模事業者とのマッチング支援</p> <p>⑥後継者不在の事業者の経営資源の引継ぎ(廃業)の支援</p> <p>3 後継者育成塾の開催 次世代を担う経営者育成の一環として、後継者・若手経営者向けの経営塾を開催(令和4年9月～令和5年2月 計7回)</p>

満足度調査・ヒアリング結果	評価された意見・寄せられた要望等
<p>相談企業からのアンケートはがき回収率と満足度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回収率/43.0% (回収先/52先) ・満足度/96% <p>【回答内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①大変親切・丁寧であった:38先(73%) ②親切・丁寧であった:12先(23%) ③どちらともいえない:2先(4%) ④やや不親切・丁寧さに欠けた:一先 ⑤不親切・丁寧さに欠けた:一先 	<p>【相談内容・現状】</p> <p>Aは高齢になったが、親族や従業員への事業承継が困難なため事業の引継ぎ先を探していたが、知人からBを紹介された。数回面談し価格交渉も行ったが進展せず、事業価値の考え方や今後の交渉の進め方等について支援依頼があった。</p> <p>【対応】</p> <p>上記に基づき下記のアドバイスを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①事業価値の算出方法について ②事業譲渡の進め方 ③事業譲受先との交渉の際の立会い ④事業譲渡契約書(ひな型)の提示 ⑤譲渡契約内容について <p>【意見】</p> <p>個人事業主間の事業譲渡であったが、無事業の存続と従業員の雇用維持(5人)ができた。相談者からも丁寧な対応および引継ぎが円滑に出来たことに対する謝意が示された。</p>

課題と対応方針、次年度展望
<p>一次相談案件は473件となり新規相談件数は、親族内・譲渡ともに、目標を達成した。また、親族内承継の成約も目標を上回る21件の実績、更に経営者保証業務支援申請件数も目標を上回る105件の実績を挙げることが出来たものの、第三者承継は目標を下回る32件に止まっており、引続き対応が急務である。そのためにも、これまで実施してきた下記のような対応策を継続的に実施する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①三重県産業支援センター内相談拠点との連携 ②連絡会開催、勉強会開催等によるネットワーク構成機関との連携強化 ③DMの発送とアウトバウンドコールを活用した事業者からの直接ニーズの発掘 ④第三者承継成約に向けたニーズ情報の入手強化 ⑤マッチングコーディネーターの追加登録による二次対応案件の増加 <p>※経営者保証業務支援は、令和5年度から中小企業活性化協議会へ業務が移行する。</p>

担当課	関係機関等
よろず支援・事業承継課	経済産業省 中部経済産業局

年度	番号	財源	事業名	事業費(単位:千円)	継続・新規
令和4年度	3	県	三重県事業承継ネットワーク運営事業	3,160	継続
			前年度事業名	事業費(単位:千円)	前年度比
			同上	3,173	▲ 13

事業概要	実績			
三重県事業承継ネットワークにおいて、構成機関上部団体との連絡会議(全体会議)を開催、情報交流、支援状況・事例の報告を行い、適宜改善し効率的な運営を図る。 他の地域事務局との情報交換を図る。 また、セミナー等を開催し、周知活動を行う。	目標	実績	達成率	
	1 事業承継診断件数	2,846件	4,171件	146.6%
	2 連絡会議開催	2回	2回	100.0%
	3 セミナー開催	2回	2回	100.0%
	4 事業承継計画策定件数	－ 件	1,125件	－
※4は目標無し				

取組内容
1 事業承継診断 各構成機関が実施する事業承継診断・事業承継計画策定支援について、診断⇒計画策定支援⇒策定後のフォローを管理できるスキーム構築に努めると共に、事業承継に係る悩み・課題・支援ニーズの掘り起こしや構成機関による支援により件数の極大化を図った。また、事業承継診断による掘り起こし「事業承継・引継ぎ支援センター」のエリアコーディネーターが、各担当エリアの商工団体・金融機関支店等と連携し、事業承継支援候補企業の掘り起こしを行い、課題の見える化から課題解決に向けた個者支援を実施した。(構成機関とエリアコーディネーターとの連携支援実施件数 計192件)
2 連絡会議の開催(2回) (1)第1回連絡会議 R4.4.13(水) 三重県勤労者福祉会館6階 ①参加者:52機関 80名 ②内容:今年度の国の取組、三重県組織体制、活動方針、目標、計画等説明 (2)第2回連絡会議 R4.11.25(金) 三重県勤労者福祉会館6階 ①参加者:46機関 68名 ②内容:全国取組事例紹介、三重県上期実績状況報告、下期取組依頼、構成機関取組状況紹介
3 セミナー・勉強会 (1)8月2日(火):第三者承継入門セミナー「未来に事業を引き継ぐために」 講師/鈴木 安夫 氏、トークセッション:小口 博毅 氏 場所/三重県総合文化センター 大会議室 参加者/33名 (2)11月25日(金):パネルディスカッション「ワンストップ体制とネットワークの強靱化」 講師/野田 正純(中小企業活性化協議会)、池田 茂(よろず支援拠点)、後藤 悦夫(事業承継・引継ぎ支援センター) 場所/三重県勤労者福祉会館6階 参加者/68名 (3)勉強会 事業承継勉強会(構成機関と共催) 7機関(金融機関・税理士会・商工会議所・商工会) 計23回 総参加者数 1,212名

満足度調査・ヒアリング結果	評価された意見・寄せられた要望等
「三重県事業承継ネットワーク活動および事業承継支援活動に関するアンケート」を実施した結果、構成機関の8割が連携ができていると回答があった。ネットワークの活動として、支援事例の紹介や相談会の開催が期待されている。	-

課題と対応方針、次年度展望
<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークの連携強化による支援個者企業の掘り起こしが必要であるため、今後も商工団体単会・金融機関支店の担当者との定期的情報交換と個者支援の推進を行う。 ・令和5年度は、引き続き、事業承継・引継ぎ支援センターのエリアコーディネーターと各担当エリアの商工団体・金融機関支店等との連携、税理士との連携も強化し、協会事業承継支援候補企業の掘り起こし・課題の見える化から課題解決に向けた個者支援を実施していく。

担当課	関係機関等
よろず支援・事業承継課	雇用経済部 中小企業・サービス産業振興課

年度	番号	財源	事業名	事業費(単位:千円)	継続・新規
令和4年度	4	県	ステップアップ経営向上計画支援事業	12,400	継続
			前年度事業名	事業費(単位:千円)	前年度比
			同上	17,461	▲ 5,061

事業概要	実績		
	目標	実績	達成率
中小企業等の経営向上・経営革新に対する取り組みを促進するため、経営支援コーディネーターを配置し、商工団体等関係機関と一体となって、経営向上計画と経営革新計画の作成にかかるブラッシュアップと、経営計画の実行に必要な専門家派遣など支援策を行う。	1 三重県版経営向上計画認定件数	約1,200件	1,179件 98.3%
	2 専門家派遣事業者件数	約 50件	45件 90.0%
	3 経営革新計画承認件数	約20件	19件 95.0%

取組内容

1 三重県版経営向上計画

- ①多様な中小企業・小規模企業がそれぞれの発展段階に応じて、経営課題の抽出・発見やその解決に向けた取組に係る経営計画作成の支援を行った。
- ②県から計画の認定を受けた中小企業・小規模企業には、計画の実現のために、専門家派遣などの支援を行った。
- 中小企業・小規模企業経営課題は、物価高騰・人手不足や賃上げ・設備投資・販路開拓・技術開発・事業承継・経営改善など幅広いが、経営計画の策定を通じて、各専門部署による各種支援メニューの特徴を活かした実行支援につなげた。

中小企業等の経営向上・経営革新に対する取り組みを促進するため、商工団体等関係機関と一体になって、発展段階に応じて作成する経営向上計画等の作成やブラッシュアップを行います。



2 経営革新計画

- ①中小企業・小規模企業が、新規性と実現可能性のある取り組みを行う計画を立て、その取り組みが付加価値額や給与支給総額の向上をもたらす場合、知事がその計画を承認すること、承認を受けた中小企業・小規模企業は低利融資などの支援策を受けることができることなどを周知し、計画策定の支援を行った。
- ②中小企業・小規模企業による本制度活用を推進することにより、様々な発展段階にある中小企業・小規模企業の新たな事業活動に対する支援策の情報提供や、相談窓口への連携等の支援を行った。

満足度調査・ヒアリング結果	評価された意見・寄せられた要望等
三重県版経営向上計画の策定支援を実施している県内商工団体(商工会議所・商工会)に対し、訪問して意見・要望のヒアリングを実施した。	<p>1 三重県版経営向上計画について、県内商工団体訪問時のヒアリングからは、各ステップにおける課題抽出や支援策の情報提供などで、センターの助言が役に立ったと、ご担当者や事業者からの評価をいただいた。</p> <p>2 経営革新計画においては、新規性・実現可能性のある取り組みを行う計画の取り組みに必要な策定支援と共に、承認を受けた中小企業・小規模企業は低利融資・信用保証・販路開拓の支援策などを整理して欲しいとの要望があった。</p>

課題と対応方針、次年度展望

三重県版経営向上計画は商工団体との連携が重要であることから、商工団体の担当者を対象とした研修会を実施し、計画策定のアドバイス方法や事例研究を実施しており、今後も継続して取り組みを行っていく。

経営革新計画は、中小企業庁による電子申請システムの運用が今後始まる予定であり、電子化に対応した事務スキームの見直しなど、対応に向けた検討を行う。また、申請件数が減少傾向であることから、三重県と連携して申請者向けガイドブック作成などの対応を検討する。

担当課	関係機関等
経営支援課	雇用経済部 中小企業・サービス産業振興課

年度	番号	財源	事業名	事業費(単位:千円)	継続・新規
令和4年度	5	県	プロフェッショナル人材戦略拠点運営事業	9,063	継続
			前年度事業名	事業費(単位:千円)	前年度比
			同上	7,716	1,347

事業概要	実績		
経営の課題を経営者の立場で聞き取り、それを解決できる人材ニーズを明確にする。 その上で、民間人材ビジネス会社等を活用して必要なプロフェッショナル人材の採用をサポートし、企業の経営革新の実現、経営向上の取り組みを支援する。	年間成約件数	目標 35件	実績 71件 達成率 202.8%
	年間相談件数	250件	333件 133.2%
	当財団内部の部署との連携による相談件数		
	25件 58件 232% (うち事業承継・引継ぎ支援センターとの連携 10件)		

取組内容
1 プロフェッショナル人材の活用の喚起、求人、求職の取次について ・意欲の高い企業に対し経営者と面談を重ね、課題の聴取、人材ニーズの明確化、マッチング支援の実施 ・新規企業の掘り起こしは、センター内の部署、金融機関及び関係機関と連携を図りながら「課題解決」「人材確保」の支援を実施
2 様々な支援制度との連携による求人ニーズの掘り起こしについて ・紹介料無料「連携大企業人材」特に三重とゆかりの強い大企業と連携を強化し支援を促進 ・行政の無料紹介事業「三重県生涯現役促進協議会」「産業雇用安定センター」「自衛隊援護協会」の活用を紹介、企業情報を紹介し、マッチング促進
3 未成約案件の解消について ・プロ人材定着化の確認や人材ニーズの再確認・活用の促進、成約の支援を目的に訪問実施 ・取り繋ぎ企業、人材紹介会社と適宜連絡、情報交換しマッチングの促進 ・求人企業の人材会社に対するプレゼンテーション実施(3回)
4 副業・兼業人材紹介について ・副業人材の説明会や副業人材紹介事業者を交えたニーズの明確化支援実施 ・手軽に活用できる「副業・兼業人材」の周知、活用推奨の為、サービス業等の小規模事業者に活用の意向調査を実施(3月)

満足度調査・ヒアリング結果	評価された意見・寄せられた要望等
・プロ人材受入企業を対象にアンケート調査を実施 (全国調査、179社から回答) 約8割以上が、「期待通り」「期待以上」に活躍している。 ・副業人材等人材確保のアンケート調査を実施 (三重県調査、127社から回答) 46社が、プロ人材事業(副業)活用の意向がある。 来期、支援を行う。	・事業再構築補助金を活用し、新規事業を推進するプロ人材推進責任者、製造管理、指導する副業人材等複数早期に確保でき、拠点の対応に感謝された。 ・創業50周年を迎える企業の経営課題は「将来を見据えた適材適所の人材補強と人材育成」で組織管理の要となる人材の確保を支援実施、社長は50周年を機に経営書を出版 その中で「拠点を活用して採用したプロ人材が社内変革に貢献」と紹介 ・きめ細かい対応により従業員20人以下の企業で10件以上成約(1社は5人以下)

課題と対応方針、次年度展望
課題:継続推進企業のフォローアップと副業・兼業人材の活用促進 対応方針:1 継続推進企業の再訪問による企業要望人材の変化に対応した活動。 2 「副業・兼業人材」、「紹介料無料の連携大企業人材」、事業のメリット(必要な人材支援)を周知と活用の推進。 23年度年度展望 ・体制拡充のもと、センター内及び各関係機関との連携を密に行い、潜在的ニーズ企業の掘り起こしとマッチング支援を行う。 ・多様化する人材ニーズに「副業・兼業人材」「大企業連携」など企業に負担少ない提案を行い、相談支援件数の掘り起こしを行う。

担当課	関係機関等
経営支援課	雇用経済部 雇用対策課

年度	番号	財源	事業名	事業費(単位:千円)	継続・新規
令和4年度	6	県	果実運用型ファンド活用促進事業	73	継続
			前年度事業名	事業費(単位:千円)	前年度比
			同上	97	▲ 24

事業概要	実績
各地域での新事業創出の仕組みづくりを支援する「みえ地域コミュニティ応援ファンド」、「みえ農工商連携推進ファンド」によるその後の新たな取り組みを創出するため、ファンド活用事業者等へフォローアップを行う。	<p>◆ビジネスフェア等への出展回数 【目標】2回以上 【実績】2回</p> <p>◆フォローアップ活動回数 【目標】70回以上 【実績】70回</p>

取組内容

1 新事業創出の仕組みづくりにかかる取組み

- ①ファンド助成金を活用して新商品・新サービスを開発した事業者を訪問し、商品化、販路開拓、人材確保、特許・商標の取得など事業者が抱える課題に対する支援を行った。(訪問実施回数70回)
- ②ファンド助成金を活用した事業者1者を取材し、新商品・新サービスに関するエピソードを当センターが発刊する広報誌へ掲載し、三重県内の中小企業、支援機関、金融機関等に対して広くPRを行った。(掲載事業者1者)
- ③「しんきんビジネスマッチング『しんきんビジネスフェア 2022』」、「東京三重県人会大会」への「三重県産業支援センター」ブース出展に併せ、同ブース内へ県内事業者がファンド助成金を活用して開発した商品を展示し、県内事業者および取扱商品の情報発信等を行った。

【しんきんビジネスフェア2022】

【東京三重県人会大会】

取扱事業者	取扱商品
1 三和水産株式会社	鯛だしポン酢
2 寒紅梅酒造株式会社	紅翠
3 ミナミ産業株式会社	ドライバック大豆、大豆のぼうんどけーき
4 有限会社荒木園一商店	カキのオイル漬け、サザエのジェノベーゼ
5 マル信緑香園	デカフェ緑茶、デカフェ緑茶ほうじ茶
6 下津醤油株式会社	伊勢芋かりんとろ
7 有限会社藤総製陶所	ひとしずく
8 井上真珠	兵九郎粕漬(伊賀焼風)
9 尾鷲金盛丸	極上まぐろの角煮
10 おぼろタオル株式会社	百年の極み、伊勢古式着物模様
11 株式会社アヤマNOSAN	蕪田のつづみ(2合)、蕪田のつづみ(1kg)
12 有限会社伊勢昆布	生ふりかけ
13 農事組合法人土実樹	パート・ドゥ・フリュイ、コンフィチュール(AP、SP)

取扱事業者	取扱商品
1 三和水産株式会社	鯛だしポン酢
2 寒紅梅酒造株式会社	紅翠
3 有限会社荒木園一商店	カキのオイル漬け、サザエのジェノベーゼ
4 マル信緑香園	デカフェ緑茶、デカフェ緑茶ほうじ茶
5 尾鷲金盛丸	極上まぐろの角煮
6 株式会社アヤマNOSAN	蕪田のつづみ(2合)
7 有限会社伊勢昆布	生ふりかけ
8 農事組合法人土実樹	コンフィチュール(AP、SP)
9 おぼろタオル株式会社	百年の極み、伊勢古式着物模様
10 株式会社保田商店	おもちパスタ
11 辻製油株式会社	黒にんにくレストランシリーズ
12 株式会社賀門	花咲かりん

満足度調査・ヒアリング結果

評価された意見・寄せられた要望等

—

「しんきんビジネスマッチング『しんきんビジネスフェア2022』」へ展示した商品を取り扱う事業者から、全国的に多数の商談会が開催され年末年始の繁忙期を控える秋ごろは、多くの商談会・展示会に参加したい意志はあるものの、そこに割く人的・時間的余裕がなく、当センターのブースにて代わりに商品展示・情報発信出来たことが有難かった、との声をいただいた。また、ファンド活用事業者のフォローアップ活動の中で、アフターコロナおよびエネルギー価格、原材料価格高騰に対応しながらの海外販路開拓にかかるノウハウ習得機会の要望が挙げられている。

課題と対応方針、次年度展望

令和4年度においては、前年度に開催が中止されたしんきんビジネスフェア、東京三重県人会大会が開催され、ファンド事業を活用した商品や事業者をPRする機会を設けることができた。(大阪三重県人会大会は中止)

しかしながら、両展示会に出展した商品は重複するものが多かったことに加え、過去にも展示会で取り扱ったことがある商品も多かった。

令和5年度においては、過去フォローアップ活動未実施の事業者への訪問活動、課題のヒアリングに注力し、ビジネスフェア等への出展商品のバリエーションを広げながら、引き続き当センターの支援内容やファンド活用事業者の商品PR等を実施する。

担当課	関係機関等
経営支援課	雇用経済部 県産品振興課

年度	番号	財源	事業名	事業費(単位:千円)	継続・新規
令和4年度	7	県	地域資源活用支援施策普及啓発事業	627	継続
			前年度事業名	事業費(単位:千円)	前年度比
			同上	521	106

事業概要	実績
国や県が行う地域資源活動施策の普及啓発や各助成金事業のフォローアップを行うことで、地域の資源・魅力を活かした取り組みや農商工連携等の取り組みによる地域産業活性化を支援する。	◆普及啓発活動回数 【目標】24件以上 【実績】27件

取組内容

普及啓発フォローアップにかかる取組み

- ①県内の中小企業等を対象として、地域資源を活用した新商品・新サービスの開発、販路開拓などの様々な事業段階における農商工連携促進法などに基づく支援制度の紹介や国・県等が行う地域資源活用支援施策の普及啓発を一体的に行った。(普及啓発活動数:27件)
- ②沖縄県の国際物流貨物ネットワークを活用し、日本全国の特産品等の海外販路拡大につなげていくことを目的に開催する「10th沖縄大交易会2022」や、中小・小規模事業者が自社の新製品・新技術を紹介しビジネスパートナーを発掘する契機となることを目指す「ビジネスプラン発表会2022」の開催調整やサポートを行った。
- ③JETRO三重および県内事業者と連携して、県内事業者の海外販路開拓にかかる意識醸成および商談時の情報発信力向上に向けて、「海外販路開拓商談セミナー」を4回コース(全てオンライン形式)で開催した。

【10th沖縄大交易会2022】

【ビジネスプラン発表会2022】

取扱事業者	取扱商品
1 有限会社新兵衛屋	かに味(かまぼこ)、無添加じゃこ天
2 有限会社寛木園一商店	牡蠣味噌、牡蠣XO醤、牡蠣チャンジャ
3 日印食品開発有限会社	マハラジャチキンカレー、手焼きナン
4 糸川屋製菓株式会社	伊勢志摩産さぶれ
5 辻製油株式会社	フレーバーオイル、黒にんにくドレッシング
6 有限会社丸善水産	冷凍殻付き牡蠣、冷凍カキフライ
7 株式会社TA西村	凍蔵期間冷凍伊勢海老
8 株式会社ジャバントレードインターナショナル	飛騨牛、伊勢マグロ、伊勢エビ
9 株式会社INS	乳化液状ドレッシング、松太郎ジャッキー
10 株式会社つじ農園	たらふく玄米・白米 有機栽培米
11 株式会社農場	ホエイクッキー、ホエイバスタ松阪牛のミートソース
12 株式会社もんいまあじゅ	作フィナンシェ、作チーズケーキ
13 株式会社野田米菓	野田あられ
14 有限会社楽らく	飛騨の滝オリジナルマイヤーレモンカレー

発表企業	ビジネスプラン名/概要
1 TOTAL MASTERS株式会社	世界へ提供する油圧ショベルICTシステム 油圧ショベルへ搭載するICTシステムを世界の建設現場へ提供、ユーザーは生産性を向上し、環境負荷を軽減します。
2 株式会社水谷精機工作所	製造業DXで「培ったノウハウ」を幅広い分野に応用提案 「工場のデジタル化」を起点に、技能伝承~BCP対策~品質保証(企画制作中)を可能にする提案者人化、無人化対応まで。
3 糸伍株式会社	伊賀組紐の新たなチャレンジと可能性 コロナ過で着物を着る機会が激減していく中で組紐メーカーの考え出した今までに無い本格的な靴紐を作るメーカーになる新たなチャレンジ。

満足度調査・ヒアリング結果

満足度調査・ヒアリング結果	評価された意見・寄せられた要望等
—	<ul style="list-style-type: none"> ・「10th沖縄大交易会2022」当日までに海外販路開拓専門家による海外販路開拓セミナーを経験したことで商談の質が上がった。 ・海外販路開拓セミナーを通して自社でできること、自社ですべきことのイメージを持つことが出来、模擬商談ではっきりわかりやすくアドバイスをもらうことができた。

課題と対応方針、次年度展望

令和5年度の普及啓発活動においては、過去に訪問を実施したことがない県内の中小企業等に対し重点的にフォローアップを実施することで、当センターによる各種支援メニューに繋げ、農商工連携等の取組による地域産業活性化を図る。

担当課	関係機関等
経営支援課	雇用経済部 県産品振興課

年度	番号	財源	事業名	事業費(単位:千円)	継続・新規
令和4年度	8	県	海外ビジネス展開支援事業	34,188	新規
			前年度事業名	事業費(単位:千円)	前年度比
			-	-	-

事業概要	実績			
<p>コロナ禍で停滞していた海外ビジネスの本格的な再開が見込まれることから、県内中小企業・小規模企業等の反転攻勢へ向けた国際展開の需要が高まっている。このため、(新型コロナウイルス感染症の影響を受けている)中小企業・小規模企業等が行う、製品・部素材の調達先国の新規開拓や海外販路の拡大等に対する取組を支援する。</p>	<p>交付決定件数</p> <p>補助金交付決定額</p> <p>補助金確定額</p>	<p>目標</p> <p>47件</p> <p>41,582,000円</p> <p>29,266,000円</p>	<p>実績</p> <p>50件</p>	<p>達成率</p> <p>106%</p>

取組内容	
<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、輸入・輸出が停滞している県内中小企業等が行う、海外での調達先や販路の拡大への取り組みを支援。</p> <p>1 補助対象となる取組、費用の例</p> <p>①海外販路を拡大するための展示会・商談会(オンラインを含む)への出展・参加費及び付随する通訳・翻訳費、多言語動画作成費</p> <p>②海外からの調達先の多元化を図るための試作原材料及び輸送費</p> <p>2 補助額</p> <p>上限100万円(補助率2/3)</p> <p>3 補助対象者</p> <p>主たる事務所又は事業所が三重県内にある中小企業・小規模企業等</p> <p>※対象外:大企業(みなし大企業を含む)</p> <p>4 募集期間</p> <p>1次: 令和4年4月25日 ~ 令和4年5月13日</p> <p>2次: 令和4年6月10日 ~ 令和4年7月8日</p> <p>3次: 令和4年8月16日 ~ 令和4年9月9日</p> <p>①応募数: 70件</p> <p>②採択数: 50件</p> <p>③交付決定金額: 41,582,000円</p> <p>5 事業期間(実績報告書提出期限)</p> <p>令和5年1月31日(火)まで(令和5年2月14日(火))</p> <p>交付決定50件のうち、新型コロナウイルス感染症等の影響により、現地での計画が進まず、7件が事業完了できなかった。</p>	

満足度調査・ヒアリング結果	評価された意見・寄せられた要望等
-	<p>完了検査で訪問した際に、新型コロナウイルス感染症の影響も収まりつつあり、海外事業を徐々に再開することができたので、本補助金はたいへん有効だった。との意見があった。</p>

課題と対応方針、次年度展望
<p>今年度は、交付決定50件のうち、7件が事業中止(廃止)の結果となった。その理由としては、海外展示会に参加する予定であったが新型コロナウイルス感染症の影響により展示会が中止となったこと、使用原料の調達が困難になったこと、光熱費及び燃料費の高騰により事業の遂行が困難になったこと等が挙げられた。次年度においては、事業期間をできる限り長く設定することで、企業の販路開拓の支援を行いたい。</p>

担当課	関係機関等
経営支援課	雇用経済部 国際戦略課

年度	番号	財源	事業名	事業費(単位:千円)	継続・新規
令和4年度	9	自	小規模企業者等設備貸与事業	7,437	継続
			前年度事業名	事業費(単位:千円)	前年度比
			同上	7,524	▲ 87
年度	番号	財源	事業名	事業費(単位:千円)	継続・新規
令和4年度	10	自	小規模企業者等設備貸与支援事業	88	継続
			前年度事業名	事業費(単位:千円)	前年度比
			同上	807	▲ 719
年度	番号	財源	事業名	事業費(単位:千円)	継続・新規
令和4年度	11	県	小規模企業者等設備資金貸付事業	614	継続
			前年度事業名	事業費(単位:千円)	前年度比
			同上	614	0
年度	番号	財源	事業名	事業費(単位:千円)	継続・新規
令和4年度	12	県	事業共同化等連携事業等促進診断事業	5,887	継続
			前年度事業名	事業費(単位:千円)	前年度比
			同上	7,294	▲ 1,407

事業概要	実績
過去の設備貸与、資金貸付債権の管理と回収、中小企業診断士による事後指導などを行う。	過去に設備貸与及び資金貸付を行った債権に対して、回収・管理業務を行うとともに、未収債権の回収に努めた。
取組内容	
過去の設備貸与、資金貸付債権の管理と回収、中小企業診断士による事後指導などを行った。	
満足度調査・ヒアリング結果	評価された意見・寄せられた要望等
—	—
課題と対応方針、次年度展望	
引き続き、過去の設備貸与、資金貸付債権の管理と回収などを行う。	

担当課	関係機関等
庶務経理課	雇用経済部 中小企業・サービス産業振興課・自主事業

年度	番号	財源	事業名	事業費(単位:千円)	継続・新規
令和4年度	13	国	中小企業再生支援事業	131,690	継続
			前年度事業名	事業費(単位:千円)	前年度比
			同上	98,933	32,757

事業概要	実績												
<p>1 事業の将来性が見込め、かつ主体的に事業の再構築に取組企業の相談に応じ、助言や再生計画策定支援を行う。また再生困難な事業者に対しては円滑な廃業・再スタートに向けて、各種助言・専門家紹介を行うほか、保証債務の整理支援を行う。</p> <p>2 中小企業の駆け込み寺としての機能を発揮するとともに、民間専門家・関係支援機関との実効的な連携を通じた地域支援の最大化を目指す。</p> <p>3 特例・再特例リスケの出口支援に取り組む。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>目標</th> <th>実績</th> <th>達成率(全国平均)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1事前+窓口相談件数</td> <td>91件</td> <td>224件</td> <td>246.2% (163.3%)</td> </tr> <tr> <td>2支援完了件数</td> <td>70件</td> <td>78件</td> <td>111.4% (99.2%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1:1の実績中、窓口相談件数は117件 注2:2の内訳は計画策定完了63件(うち抜本4件)、再チャレンジ14件、ポストコロ1件</p>		目標	実績	達成率(全国平均)	1事前+窓口相談件数	91件	224件	246.2% (163.3%)	2支援完了件数	70件	78件	111.4% (99.2%)
	目標	実績	達成率(全国平均)										
1事前+窓口相談件数	91件	224件	246.2% (163.3%)										
2支援完了件数	70件	78件	111.4% (99.2%)										

取組内容
<p>1 窓口相談</p> <p>①県内金融機関 主要店舗を訪問、新規案件の掘り起こしを実施 ②事業承継・引継ぎ支援センター、よろず支援拠点など各相談拠点との連携による新規相談の実施 ③税理士、弁護士等との連携により、経営者保証GL案件の相談実施 ④金融機関との事前相談の実施</p> <p>2 関係機関との連携・情報交換</p> <p>①中小企業支援ネットワーク会議(令和4年11月開催) ②「再生支援協議会事業中部ブロック会議」(令和4年9月開催) ③みえ資本力強化プラットフォーム会議(令和4年7月、令和5年2月開催) ④保証協会・協議会連携会議(令和5年2月開催)</p> <p>3 再生計画策定支援</p> <p>①特例・再特例リスケ先に対する出口計画策定のアプローチ実施 ②関係機関とのDDS取り組みによる支援 ③商工中金との連携による資本金劣後ローン取組み支援(新規資金調達支援) ④スポンサー、再生ファンドとの連携による抜本再生案件への対応</p> <p>4 完了案件のフォローアップ</p> <p>①特例・再特例リスケ先、収益力改善計画先、計画策定完了先に対する月次モニタリングならびに出口支援の実施</p>

満足度調査・ヒアリング結果	評価された意見・寄せられた要望等																		
<p>計画策定支援(二次)完了先:60先 支援企業からのアンケートはがき回収数:32先 回収率 53.3%</p> <p>【回答内容】</p> <p>①満足:20先(61.9%⇒62.5%) ②やや満足:7先(14.3%⇒21.9%) ③どちらともいえない:4先(14.3%⇒12.5%) ④やや不満:1先(4.7%⇒3.1%)</p> <p>※前年より改善している</p>	<p>下記の満足度評価項目の内、①相談～対応までのスピード、②計画策定のスピード、⑥協議会担当者の対応・丁寧さの評価が高く、全体満足度も高い水準であった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>満足・やや満足の割合(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①相談～対応までのスピード</td> <td>84.4</td> </tr> <tr> <td>②計画策定のスピード</td> <td>75.1</td> </tr> <tr> <td>③協議会担当者の専門性</td> <td>68.8</td> </tr> <tr> <td>④経営改善のアドバイス</td> <td>62.6</td> </tr> <tr> <td>⑤関係機関との調整能力</td> <td>68.8</td> </tr> <tr> <td>⑥協議会担当者の対応・丁寧さ</td> <td>78.2</td> </tr> <tr> <td>⑦協議会利用時の費用</td> <td>68.8</td> </tr> <tr> <td>⑧協議会全体の満足度</td> <td>84.4</td> </tr> </tbody> </table>		満足・やや満足の割合(%)	①相談～対応までのスピード	84.4	②計画策定のスピード	75.1	③協議会担当者の専門性	68.8	④経営改善のアドバイス	62.6	⑤関係機関との調整能力	68.8	⑥協議会担当者の対応・丁寧さ	78.2	⑦協議会利用時の費用	68.8	⑧協議会全体の満足度	84.4
	満足・やや満足の割合(%)																		
①相談～対応までのスピード	84.4																		
②計画策定のスピード	75.1																		
③協議会担当者の専門性	68.8																		
④経営改善のアドバイス	62.6																		
⑤関係機関との調整能力	68.8																		
⑥協議会担当者の対応・丁寧さ	78.2																		
⑦協議会利用時の費用	68.8																		
⑧協議会全体の満足度	84.4																		

課題と対応方針、次年度展望
<p>①窓口相談の機能強化:新型コロナの影響長期化、原燃料価格・人件費上昇、ゼロゼロ融資の返済本格化により、業績回復が遅れたり、資金繰りが悪化する事業者、事業継続が困難となる事業者、債務・後継者問題を抱えた事業者等の増加可能性があるため、「駆け込み寺」としての相談機能強化を図る。</p> <p>② 出口支援・モニタリング機能の強化:出口支援を必要とする収益力改善支援先、出口計画策定支援済先に対し、事業者・金融機関とともに質の高いモニタリングを行うとともに、出口支援取組みに際しては、事業者毎に最適な支援を行う。</p> <p>③協議会の役割強化:協議会が地域のハブ的組織となり、金融機関、民間専門家、各支援機関と連携し、中小企業に対する収益力改善・事業再生・再チャレンジの推進と、地域金融機関トレーニー制度等により、支援機能の地域としてのレベルアップを図る。</p>

担当課	関係機関等
中小企業活性化協議会	経済産業省 中部経済産業局

年度	番号	財源	事業名	事業費(単位:千円)	継続・新規
令和4年度	14	国	経営改善計画策定支援事業	27,335	継続
			前年度事業名	事業費(単位:千円)	前年度比
			同上	23,378	3,957

事業概要	実績																			
<p>・中小企業活性化協議会の「経営改善計画策定支援事業」として、経営改善計画の入り口における申込案件の形式チェック及び当該計画が適切に実施されているかの確認を行う。</p> <p>・405事業(経営改善計画策定支援事業)、②ポストコロナ事業(早期経営改善計画策定支援事業)の品質向上に資する意見・助言等を行う。</p>	<table border="1"> <tr> <td>利用申請受付件数</td> <td>目標</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>(内訳)405事業</td> <td>60件</td> <td>52件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>30件</td> <td>21件(上期11件、下期10件)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(うち再度利用:7件)</td> </tr> <tr> <td>ポストコロナ事業</td> <td>30件</td> <td>31件(上期9件、下期22件)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(うち再度利用:11件)</td> </tr> </table>	利用申請受付件数	目標	実績	(内訳)405事業	60件	52件		30件	21件(上期11件、下期10件)			(うち再度利用:7件)	ポストコロナ事業	30件	31件(上期9件、下期22件)			(うち再度利用:11件)	
利用申請受付件数	目標	実績																		
(内訳)405事業	60件	52件																		
	30件	21件(上期11件、下期10件)																		
		(うち再度利用:7件)																		
ポストコロナ事業	30件	31件(上期9件、下期22件)																		
		(うち再度利用:11件)																		

取組内容	
<p>1 令和4年4月に、旧「経営改善支援センター」は旧「再生支援協議会」と統合し、新たに「中小企業活性化協議会」が発足。また、統合に伴い、制度も変更となったことから、県内金融機関の本部・信用保証協会・中小企業診断士会員・TKC会員に、統合の背景や見直し内容等の説明会を開催した。</p> <p>2 405事業・ポストコロナ事業とも、統合により、認定支援機関等向けに、助言の実施が制度化されたことから、必要に応じて、積極的な助言も実施した。</p> <p>3 新型コロナや原材料値上がり等の影響により、最近1か月の売上が前年又は前々年の同月比で5%以上減少していれば、再度利用が可能となっていることも引続き周知徹底し、(再)特例リスケ先については出口支援として旧再生支援協議会とも打合せを随時実施し、利用申請に結び付けた。</p> <p>4 県内金融機関の営業店と事業の利用を検討している企業への同行訪問を行い、事業の案内や今後の方針、改善施策等について打ち合わせを行い、405事業利用に結び付けた。</p> <p>5 TKCの例会に出席し、税理士・職員向けに研修会や見直し内容・留意点等について実務勉強会を行った。</p> <p>6 利用申請先については、随時、進捗管理を行うと共に、計画策定済の先でモニタリング費用が未請求の先については、現状把握を行い、費用請求が取下げを促し、未完了案件の整理に務めた。</p>	

満足度調査・ヒアリング結果	評価された意見・寄せられた要望等
—	—

課題と対応方針、次年度展望
<p>1 新型コロナは収束が見えない中、コロナ融資の返済も始まっており、経営改善計画・返済計画の策定ニーズはまだまだあると思われる。引き続き県内金融機関への事前相談会の実施や営業店個別訪問等を通じて、利用促進活動を行っていく必要がある。</p> <p>2 品質向上・経営改善に資する助言を積極的に行っていく。</p> <p>3 経営者保証に依存しない融資慣行の確立加速が当局より示されており、中小企業のガバナンス体制の整備についても積極的にやっていく。</p>

担当課	関係機関等
中小企業活性化協議会	独立行政法人中小企業基盤整備機構

年度	番号	財源	事業名	事業費(単位:千円)	継続・新規
令和4年度	15	県	生産性向上・業態転換支援補助金事業	1,011,511	新規
前年度事業名				事業費(単位:千円)	前年度比
-				-	-

事業概要	実績																														
<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響や、原油、ガス、電気等のエネルギー価格や原材料価格等高騰の影響を受けている中小企業等が当該影響の克服・緩和に向けて実施する生産性向上・業態転換の取組に要する経費の一部を補助する。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症拡大克服のための補助金事業:2回 (2回目は《通常枠》と《原油価格・物価高騰対応枠》を設定)</p> <p>○エネルギー価格等高騰緩和のための補助金事業</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>申請件数</th> <th>採択件数</th> <th>実績件数</th> <th>実績額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>387</td> <td>170</td> <td>156</td> <td>201,716</td> </tr> <tr> <td>通常枠</td> <td>336</td> <td>114</td> <td>104</td> <td>128,043</td> </tr> <tr> <td>原油高</td> <td>284</td> <td>122</td> <td>117</td> <td>303,044</td> </tr> <tr> <td>エネルギー</td> <td>697</td> <td>604</td> <td>528</td> <td>577,936</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,704</td> <td>1,010</td> <td>905</td> <td>1,210,739</td> </tr> </tbody> </table> <p>※エネルギー補助金実績はR5.4.26現在値</p>		申請件数	採択件数	実績件数	実績額(千円)	第1回	387	170	156	201,716	通常枠	336	114	104	128,043	原油高	284	122	117	303,044	エネルギー	697	604	528	577,936	合計	1,704	1,010	905	1,210,739
	申請件数	採択件数	実績件数	実績額(千円)																											
第1回	387	170	156	201,716																											
通常枠	336	114	104	128,043																											
原油高	284	122	117	303,044																											
エネルギー	697	604	528	577,936																											
合計	1,704	1,010	905	1,210,739																											

取組内容																															
<p>【補助金事業の実施概要】</p> <p>補助対象者は、全事業とも三重県内の中小企業等で上記の要因による企業活動への影響を受けた者。 なお、各事業のスケジュールは右表のとおり。</p>																															
<p>1 『第1回三重県新型コロナ克服 生産性向上・業態転換支援補助金』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助率:補助対象経費の1/2以内 ・補助金額:50万円～200万円 	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>公募開始</th> <th>公募締切</th> <th>交付決定</th> <th>実施期限</th> <th>報告期限</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>R4.4.20</td> <td>R4.5.20</td> <td>R4.6.10</td> <td>R4.11.30</td> <td>R4.12.20</td> </tr> <tr> <td>通常枠</td> <td>R4.7.8</td> <td>R4.7.28</td> <td>R4.8.19</td> <td>R5.1.11</td> <td>R5.1.31</td> </tr> <tr> <td>原油高</td> <td>R4.7.8</td> <td>R4.8.10</td> <td>R4.9.9</td> <td>R5.1.11</td> <td>R5.1.31</td> </tr> <tr> <td>エネルギー</td> <td>R4.10.25</td> <td>R4.11.14</td> <td>R4.12.5</td> <td>R5.2.28</td> <td>R5.3.20</td> </tr> </tbody> </table>		公募開始	公募締切	交付決定	実施期限	報告期限	第1回	R4.4.20	R4.5.20	R4.6.10	R4.11.30	R4.12.20	通常枠	R4.7.8	R4.7.28	R4.8.19	R5.1.11	R5.1.31	原油高	R4.7.8	R4.8.10	R4.9.9	R5.1.11	R5.1.31	エネルギー	R4.10.25	R4.11.14	R4.12.5	R5.2.28	R5.3.20
	公募開始	公募締切	交付決定	実施期限	報告期限																										
第1回	R4.4.20	R4.5.20	R4.6.10	R4.11.30	R4.12.20																										
通常枠	R4.7.8	R4.7.28	R4.8.19	R5.1.11	R5.1.31																										
原油高	R4.7.8	R4.8.10	R4.9.9	R5.1.11	R5.1.31																										
エネルギー	R4.10.25	R4.11.14	R4.12.5	R5.2.28	R5.3.20																										
<p>2 『第2回三重県新型コロナ克服 生産性向上・業態転換支援補助金』</p> <p>○《通常枠》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助率:補助対象経費の1/2以内 ・補助金額:50万円～200万円 <p>○《原油価格・物価高騰対応枠》 ※表中は『原油高』と表記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助率:補助対象経費の2/3以内 ・補助金額:50万円～400万円 																															
<p>3 『三重県エネルギー価格等高騰対応 生産性向上・業態転換支援補助金』 ※表中は『エネルギー』と表記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助率:補助対象経費の1/2以内 ・補助金額:10万円～200万円 																															

満足度調査・ヒアリング結果	評価された意見・寄せられた要望等
-	-

課題と対応方針、次年度展望
<p>コロナ禍による世界経済の停滞に端を発して以降、ロシアのウクライナ侵攻や中国経済の停滞、欧米の金利引き上げ等、国際社会の不安定な情勢は県内中小企業等の経済活動に様々な影響を与え続けている。</p> <p>令和4年度末より公募を開始した『第2回三重県エネルギー価格等高騰対応 生産性向上・業態転換支援補助金』事業を迅速かつ着実に推進することで、県内中小企業等の経営向上を支援していく。</p>

担当課	関係機関等
経営支援課	雇用経済部 中小企業・サービス産業振興課

年度	番号	財源	事業名	事業費(単位:千円)	継続・新規
令和4年度	16	国	中小企業地域資源等活用促進事業	874	継続
			前年度事業名	事業費(単位:千円)	前年度比
			同上	492	382

事業概要	実績
集客力の高いイベント、展示商談会への出展機会の提供や専門家によるPR方法・展示の工夫等のブラッシュアップを通じて、県内事業者の販路拡大や情報発信力向上を支援する。	「10th沖縄大交易会2022」における三重県PRブースの展開 沖縄大交易会における専門家支援

取組内容																															
<p>「10th沖縄大交易会2022」の展示商談会にかかる事業者支援</p> <p>「10th沖縄大交易会2022」における三重県PRブースの展開対応を以下のとおり行った。</p> <p>【出展目的】沖縄県の国際物流貨物ネットワークを活用し、日本全国の特産品等の海外販路拡大につなげていくことを目的に同交易会に出展するサプライヤーの効果的な商談に向けた指導支援を行うとともに、「三重県産業支援センター」としてPRブースを設置し、出展サプライヤーの商品展示、企業・商品PRを実施する。</p> <p>【出展日】 令和4年11月24日(木) ~ 11月25日(金)</p> <p>【会場】 沖縄コンベンションセンター(沖縄県宜野湾市真志喜4-3-1)</p> <p>【出展事業者】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>取扱事業者</th> <th>取扱商品</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1 有限会社新兵衛屋</td><td>かに味(かまぼこ)、無添加じゃこ天</td></tr> <tr><td>2 有限会社荒木園一商店</td><td>牡蠣味噌、牡蠣XO醤、牡蠣チャレンジ</td></tr> <tr><td>3 日印食品開発有限会社</td><td>マハラジャチキンカレー、手焼きナン</td></tr> <tr><td>4 糸川屋製菓株式会社</td><td>伊勢志摩塩さぶれ</td></tr> <tr><td>5 社製油株式会社</td><td>フレーバーオイル、黒にんにくドレッシング</td></tr> <tr><td>6 有限会社丸善水産</td><td>冷凍船付き牡蠣、冷凍カキフライ</td></tr> <tr><td>7 株式会社TA西村</td><td>凍蔵瞬間冷凍伊勢海老</td></tr> <tr><td>8 株式会社ジャパントレードインターナショナル</td><td>飛騨牛、伊勢マクロ、伊勢エビ</td></tr> <tr><td>9 株式会社INS</td><td>乳化解凍ドレッシング、松太郎ジャッキー</td></tr> <tr><td>10 株式会社つじ農園</td><td>たらふく玄米・白米、有機栽培米</td></tr> <tr><td>11 株式会社喜場</td><td>ホエイクッキー、ホエイパスタ松阪牛のミートソース</td></tr> <tr><td>12 株式会社もんいまめじゅ</td><td>作フィナンシェ、作チーズケーキ</td></tr> <tr><td>13 株式会社野田米菓</td><td>野田あられ</td></tr> <tr><td>14 有限会社楽らく</td><td>飛雪の滝オリジナルマイヤーレモンカレー</td></tr> </tbody> </table> <p>【結果】 「10th沖縄大交易会2022」において海外販路開拓の専門家を招聘し出展事業者の商談支援を行うとともに、三重県PRブースを展開し、出展事業者の商品展示やバイヤーへの商品概要の説明を実施し、興味を示したバイヤーに対しては事業者のブースを案内することで、出展事業者のPR支援および商談機会の提供を行った。</p>		取扱事業者	取扱商品	1 有限会社新兵衛屋	かに味(かまぼこ)、無添加じゃこ天	2 有限会社荒木園一商店	牡蠣味噌、牡蠣XO醤、牡蠣チャレンジ	3 日印食品開発有限会社	マハラジャチキンカレー、手焼きナン	4 糸川屋製菓株式会社	伊勢志摩塩さぶれ	5 社製油株式会社	フレーバーオイル、黒にんにくドレッシング	6 有限会社丸善水産	冷凍船付き牡蠣、冷凍カキフライ	7 株式会社TA西村	凍蔵瞬間冷凍伊勢海老	8 株式会社ジャパントレードインターナショナル	飛騨牛、伊勢マクロ、伊勢エビ	9 株式会社INS	乳化解凍ドレッシング、松太郎ジャッキー	10 株式会社つじ農園	たらふく玄米・白米、有機栽培米	11 株式会社喜場	ホエイクッキー、ホエイパスタ松阪牛のミートソース	12 株式会社もんいまめじゅ	作フィナンシェ、作チーズケーキ	13 株式会社野田米菓	野田あられ	14 有限会社楽らく	飛雪の滝オリジナルマイヤーレモンカレー
取扱事業者	取扱商品																														
1 有限会社新兵衛屋	かに味(かまぼこ)、無添加じゃこ天																														
2 有限会社荒木園一商店	牡蠣味噌、牡蠣XO醤、牡蠣チャレンジ																														
3 日印食品開発有限会社	マハラジャチキンカレー、手焼きナン																														
4 糸川屋製菓株式会社	伊勢志摩塩さぶれ																														
5 社製油株式会社	フレーバーオイル、黒にんにくドレッシング																														
6 有限会社丸善水産	冷凍船付き牡蠣、冷凍カキフライ																														
7 株式会社TA西村	凍蔵瞬間冷凍伊勢海老																														
8 株式会社ジャパントレードインターナショナル	飛騨牛、伊勢マクロ、伊勢エビ																														
9 株式会社INS	乳化解凍ドレッシング、松太郎ジャッキー																														
10 株式会社つじ農園	たらふく玄米・白米、有機栽培米																														
11 株式会社喜場	ホエイクッキー、ホエイパスタ松阪牛のミートソース																														
12 株式会社もんいまめじゅ	作フィナンシェ、作チーズケーキ																														
13 株式会社野田米菓	野田あられ																														
14 有限会社楽らく	飛雪の滝オリジナルマイヤーレモンカレー																														

満足度調査・ヒアリング結果	評価された意見・寄せられた要望等
—	「10th沖縄大交易会2022」に参加した事業者から、商談の場に専門家が同席していただいたおかげでスムーズに商談を進めることができた、当センターのブースにて代わりに商品展示・情報発信出来たことが有難かった、との意見があった。

課題と対応方針、次年度展望
<p>新型コロナウイルス感染症の影響が残る中ではあったが「イベントや展示商談会を活用した県内事業者の情報発信力向上支援」をテーマに掲げ、全国展開・海外展開等促進のための情報発信力の向上支援や、集客力の高いイベントや展示会を活用した情報発信、パネル等を活用した展示会での商品・事業者のPR展開等、コロナ禍においても工夫を凝らし効果的な事業者の情報発信力向上支援を行うことができた。</p> <p>令和5年度においては、県内事業者の全国展開・海外展開等促進のための情報発信力の向上に向けた支援について、海外販路拡大を目的とした交易会参加者に対してのフォローアップおよび情報発信の機会提供を行う。</p>

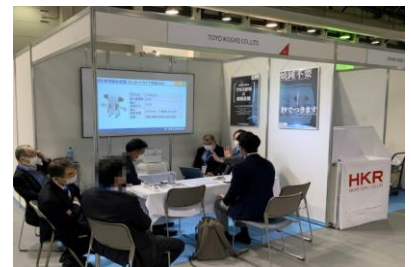
担当課	関係機関等
経営支援課	公益財団法人全国中小企業振興機関協会

年度	番号	財源	事業名	事業費(単位:千円)	継続・新規
令和4年度	17	県	航空宇宙産業参入促進事業	4,259	継続
			前年度事業名	事業費(単位:千円)	前年度比
			同上	4,295	▲ 36

事業概要	実績												
<p>県内企業の航空宇宙関連産業への参入やビジネス展開を後押しするため、航空宇宙関連企業との成約に向けた支援を行う。航空宇宙産業に造詣が深いアドバイザー等を配置し、航空宇宙関連企業の技術的な課題やニーズを把握し、商談等では効果的な提案を県内企業が行えるよう支援に取り組む。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・アドバイザー派遣による企業支援：</td> <td>15社</td> <td>19社</td> </tr> <tr> <td>・県内企業の動向等調査：</td> <td></td> <td>40社</td> </tr> <tr> <td>・新規参入や事業拡大に係る講演会の開催：</td> <td>2回</td> <td>2回</td> </tr> </tbody> </table>		目標	実績	・アドバイザー派遣による企業支援：	15社	19社	・県内企業の動向等調査：		40社	・新規参入や事業拡大に係る講演会の開催：	2回	2回
	目標	実績											
・アドバイザー派遣による企業支援：	15社	19社											
・県内企業の動向等調査：		40社											
・新規参入や事業拡大に係る講演会の開催：	2回	2回											

取組内容

- 航空宇宙関連産業参入に向けたハンズオン型企业支援(アドバイザー派遣)
航空宇宙アドバイザーの川井 昭陽(元 三菱航空機(株)社長)、中村 洋明(元 住友精密(株)取締役)により、航空宇宙産業への参入を目指す県内企業に、エアバス社、ロールスロイス社、JAXA等の面談設定、面談資料の作成、部品提案等のハンズオン支援を実施した。
- エンジンフォーラム神戸への出展支援 (支援企業:東洋工業、光精工)
令和4年10月24日～26日に神戸国際展示場にて開催された同展示商談会に向け、出展・商談支援を行った。出展内容、技術のアドバイス、技術シーズシートの作成支援、そして、現地にてアドバイザーとともにサポートを行った。展示会後のフォローアップも実施している。
- みえ航空宇宙産業推進協会(MASIP)の事務局運営
県や中部経済産業局、アドバイザーも参加するシンポジウムや講演会等を実施した。
講演会:「宇宙開発の最新状況と未来」
講師:山中 浩二氏
(宇宙航空研究開発機構(JAXA)研究開発部門第一ユニット長、HTVリードフライトディレクター)



満足度調査・ヒアリング結果	評価された意見・寄せられた要望等
<p>○ハンズオン型企业支援満足度 10件の回答で、「満足」8件、「やや満足」2件アドバイザーに訪問いただき、助言をいただいた活動は、十分な満足度が得られた。</p> <p>○講演会満足度 概ね満足以上:100% 講演会での情報提供は、十分な満足度が得られた。</p>	<p>・バイヤー企業、技術面談先等との橋渡しで、自社だけではたどり着きにくい企業と連携が図れたことを高く評価された。(ロールスロイスジャパン、エアバスヘリ等)</p> <p>・自社にはエンジンの関係者がいないため、アドバイザーの派遣が高く評価された。</p> <p>・自社の売り込む方向性、展示会出展、展示会プレゼン等へのアドバイスは、参考になったと評価された。</p>

課題と対応方針、次年度展望

- ・新型コロナウイルス感染症の収束に伴い、航空産業は回復に向かい始めている。しかしながら、企業の事業内容により差がみられる。例えば、組立を行っている企業では回復が遅れているが、部品加工を行う企業では回復して人手不足となっている。そのため、今後は一律的な支援策ではなく、企業の状況を良く聞き取ったうえで支援を実施していく。
- ・MSJの中止決定に伴い、事業参入への新たな戦略が必要となっている。中部経済産業局との会議でも、脱炭素技術を高めて次世代航空機への参入、宇宙ビジネスの事業化等の話題が出ている。我々もJAXA等との連携を図り、最新の脱炭素技術や宇宙ビジネスの情報収集や事業化に向けて取り組んでいく。

担当課	関係機関等
技術支援課	雇用経済部 新産業振興課

年度	番号	財源	事業名	事業費(単位:千円)	継続・新規
令和4年度	18	市	成長分野等新分野ものづくり・販路開拓支援事業	2,100	継続
			前年度事業名	事業費(単位:千円)	前年度比
			同上	2,100	0

事業概要	実績
<p>四日市市内ものづくり中小企業を対象にコーディネーターによる新分野参入等支援・販路開拓支援を行う。</p> <p>1 新分野参入・既存分野高度化支援 成長分野の製造開発や既存分野の高度化への取組に対し、技術技術コーディネーターによる伴走支援等を行う。</p> <p>2 販路開拓支援 展示会出展への促進活動や出展のサポート・マッチングにより、販路開拓支援を行う。</p>	<p>目標 実績 達成率</p>
	<p>1 四日市市内ものづくり 中小企業個別支援企業数 5件 5件 100.0%</p>
	<p>2 展示会での販路開拓支援 2件 2件 100.0%</p>

取組内容	
<p>1 新分野参入・既存分野高度化支援</p> <p>コーディネーターが四日市市内のものづくり中小企業に対して、企業がこれまで培った技術やノウハウを活かしながら、新規分野への参入活動、既存分野の高度化に向けた取組に対する支援を行った。</p> <p>○技術支援コーディネーターによる課題解決を個別支援 支援内容:技術開発支援、試作品検証支援、販路開拓支援、補助金申請支援等</p> <p>○情報収集 企業の展示会等への参加のための情報収集を支援した。(1件)</p> <p>2 販路開拓支援</p> <p>市内ものづくり企業に対し、機械部品等関連技術に関する展示会出展支援を実施(2件)</p>	

満足度調査・ヒアリング結果	評価された意見・寄せられた要望等
—	—

課題と対応方針、次年度展望
<p>今年度はコロナウイルスの沈静化により、展示会の直接支援を行うことが出来た。しかしながら、展示会の参加人数はコロナ前に及ばず、展示ブース前も人が多くない状況であった。次年度は、コロナの5類移行など、大きな情勢の変化があり、展示会等における参加人数の増加も見込まれ、より効果的な支援を行う。</p>

担当課	関係機関等
中小企業支援課	四日市市 工業振興課

年度	番号	財源	事業名	事業費(単位:千円)	継続・新規
令和4年度	19	県	ものづくり企業の取引拡大強化支援事業	3,825	継続
			前年度事業名	事業費(単位:千円)	前年度比
			同上	4,596	▲ 771

事業概要	実績			
新型コロナウイルス感染拡大から3年が経過し、県内ものづくり企業にとっても、収束後の「アフターコロナ」を見据えた新たな情報発信や商談機会の確保が必要な段階となってきている。このような状況の中、県内ものづくり中小企業の販路開拓機会の確保及び取引拡大支援のため、「三重オーダーメイド型個別商談会」を開催する。	1 参加発注企業数	目標 5社程度	実績 8社9事業所	達成率 160%
	2 提供商談数	40件程度	57件	142.5%

取組内容	
<p>1 三重オーダーメイド型個別商談会概要</p> <p>①開催期間 令和4年10月3日(月)～令和5年2月24日(金)</p> <p>②開催場所 発注企業の事業所内 あるいは当センターが用意する場所(オンライン方式含む)</p> <p>③対象業種 発注企業 下記の受注企業に対し発注ニーズを有する企業(県内外) 受注企業 鋳鍛造、プレス、金属加工、金型、表面処理、電気電子、ゴム、試作、治工具、設備メンテナンス等を手掛けるものづくり企業(県内に拠点を有すること)</p> <p>④参加費 無料</p> <p>2 商談会開催に向けた取り組み</p> <p>①発注企業候補選定 24社をリストアップ、内18社と面談交渉実施</p> <p>②受注企業の募集 発注企業の持つ各ニーズに対応した企業を個別に募集</p> <p>③ブラッシュアップ支援 ・ニーズとの整合性など、参加受注企業と事前擦り合せ ・発注企業と面談企業の選定、および商談設定の協議</p> <p>④関連団体、センター内各部門との連携による募集</p> <p>3 参加企業 発注企業 8社9事業所(うち 新規参加3、県内6事業所) 受注企業 応募総数 105 ユニーク企業数 62社 商談 総数57 参加ユニーク受注企業 41社</p>	<p><商談後のアンケートより></p> <p>・発注企業</p> <p>①今後の商談につながった 19件(33.2%)</p> <p>②取引につながるか不明 24件(42.1%)</p> <p>③取引の見込みなし 14件(24.6%)</p> <p>・受注企業</p> <p>①今後の商談につながった 20件(38.5%)</p> <p>②取引につながるか不明 28件(53.8%)</p> <p>③取引の見込みなし 4件(7.7%)</p>

満足度調査・ヒアリング結果	評価された意見・寄せられた要望等
<p>アンケート結果は下記のとおり</p> <p>・発注企業 回答 9事業所 回答率100%</p> <p>①「有益であった」8件(88.9%)</p> <p>②「有益ではなかった」0件(0%)</p> <p>③「どちらともいえない」1件(11.1%)</p> <p>・受注企業 有効回答数52 回答率91%</p> <p>①「有益であった」37件(71.2%)</p> <p>②「有益ではなかった」2件(3.8%)</p> <p>③「どちらともいえない」13件(25.0%)</p>	<p>・当社が探索する材種や品目に対して、ヒットするサプライヤー様が出てきたこと。</p> <p>・発注企業の課題の共有を頂き、弊社にとって有益な情報を頂けた事。</p> <p>・距離的にも近く、ビジネスの幅も広い大手企業と繋がりが持て、非常に有益であったと考えております。また見積依頼を頂けるという事でしたので、このチャンスを何とか活かしたいと考えております。</p> <p>・今回のようにすぐに答えが出る場合はいいのですが、具体的なお話になりそうなら少し時間が短めかなとは思いました。</p> <p>・他県へも視野を広げて、更なる絞った今回のような個別面談を利用出来ればと思います。</p> <p>・加工品受注案件は多いが、設計(製品設計及び設備設計)の受注案件が無いので、増やして頂きたいです。</p>

課題と対応方針、次年度展望
<p>令和3年度の「三重ものづくり商談会2022」、令和4年度の「三重オーダーメイド型個別商談会」を通じ、県内の企業参加の掘り起しをすすめてきた。</p> <p>今後の県内ものづくり企業支援の販路開拓・拡大のためには受発注企業の裾野の広がりが必要である。個別あっせんやセンター内外との連携によって積極的に機会を作り、各種商談会の案内を行うことにより、その認知度をあげていく。定例の広域合同商談会や展示商談会には新規の受注企業の参加を推進する。</p>

担当課	関係機関等
経営支援課	雇用経済部 中小企業・サービス産業振興課

年度	番号	財源	事業名	事業費(単位:千円)	継続・新規
令和4年度	20	国	知財総合支援窓口事業	30,686	新規
			前年度事業名	事業費(単位:千円)	前年度比
			-	-	-

事業概要	実績									
<p>県内の中小企業等が抱える様々な課題に対して、技術やノウハウ等の知的財産の側面から支援を行う事業。</p> <p>企業経営における知的財産の認識、意識付けおよび特許権、意匠権、商標権等の活用等の知財に関する普及啓発を図るとともに、知財活動のアイデア段階から事業展開までの一貫支援や知的財産を活用していない中小企業等のマインドの向上を図るような支援を実施する。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・相談件数</td> <td>2,400件</td> <td>2,839件(118%)</td> </tr> <tr> <td>・連携件数</td> <td>240件</td> <td>391件(163%)</td> </tr> </tbody> </table>		目標	実績	・相談件数	2,400件	2,839件(118%)	・連携件数	240件	391件(163%)
	目標	実績								
・相談件数	2,400件	2,839件(118%)								
・連携件数	240件	391件(163%)								

取組内容

知財課題の解決支援等を行った。主な取組内容は、以下のとおりである。

- ①臨時窓口の開設：8機関(伊勢商工会議所、上野商工会議所、いなべ市商工会、志摩市商工会、松阪商工会議所、尾鷲商工会議所、鳥羽商工会議所)に巡回相談窓口を設置した。(78回)
また、三重県工業研究所成果発表会、みえライフイノベーションセミナー等で、臨時相談窓口を6回、設置した。
- ②リーフレット等の作成・配布：リーフレットを5,000部作成して、商工会議所の窓口等への配布、イベント時、企業訪問時等に配布した。ホームページのリニューアル、窓口紹介ポスター及びタペストリーの新規作成等の広報活動も行った。
- ③中小企業支援機関連携会議：商工会議所等の支援機関との連携を図るために、中小企業支援機関連携会議を2回開催した。
- ④月例会の開催：INPIT本部との情報共有、相談員間の連携、情報共有を図るために月例会議を12回開催した。
- ⑤テーマ別連携会議：県内の商工会議所、商工会、農業研究所などを訪問し、連携及び地域の課題発掘を行った。31機関を訪問。
- ⑥セミナーの開催協力：県庁主催の知財関連セミナーに協力した。
- ⑦知財活用の広報：FM三重で、10件の相談員の支援事例を紹介した。8月に発行された広報紙『MIESC』79号で、本事業を紹介した。
- ⑧INPIT支援事例報告：ホームページ掲載の支援事例を4件更新した。



満足度調査・ヒアリング結果	評価された意見・寄せられた要望等
<p>INPIT顧客満足度調査結果：上期99%、下期99.5% (「知財総合支援窓口に対する満足度」「知財総合支援窓口の総合的な満足度」の満足度)</p> <p>定例会でINPIT中部統括に出席いただき、本部の動向等の意見を頂いているが、指摘等を受けることはなかった。</p>	<p>みえ相談窓口では、加速的支援を11社、IPランドスケープ支援を3社、実施しているが、いずれも支援先より評価を頂いている。</p> <p>企業からの声として、</p> <ol style="list-style-type: none"> ①知的財産権を経営に生かすことができ、受注増加することができ窓口を利用して良かった。 ②窓口で相談することにより、専門家等を活用ができ自社単独ではできないビジネスを推進することができ良かった。 <p>等、高評価を得ている。</p>

課題と対応方針、次年度展望

支援機関との連携強化：「顔の見える連携」を目指し産業構造や地域特性に応じた取組を行う。

- ① 県内を地域に分け、地域単位で連携会議などを開催して、課題発掘、連携強化を図る。
 - ② 商工会議所・商工会単位での経営指導員との座談会(勉強会)を継続して取り組み、より一層の連携強化を図る。
 - ③ 定期巡回窓口、臨時窓口に加え、WEB会議システムを利用した「いつでも相談会」を運用して、より活用しやすい窓口とする。
- 新規相談獲得：地域中小企業の「便利屋」を目指し支援プログラムの周知強化を図る。
- ① 商工会・商工会議所会報誌等に折込チラシ等を入れ、周知を行う。
 - ② FMラジオ番組等で知財活用企業紹介を行う。
 - ③ 支援機関、関係機関等に対して、知財関連セミナーを開催する。

担当課	関係機関等
技術支援課	独立行政法人工業所有権情報・研修館

年度	番号	財源	事業名	事業費(単位:千円)	継続・新規
令和4年度	21	国	地域中小企業外国出願支援事業	568	継続
			前年度事業名	事業費(単位:千円)	前年度比
			同上	1,875	▲ 1,307

事業概要	実績						
海外市場での販路開拓や円滑な営業展開、また模倣被害への対策を支援するため、進出先において知的財産権(特許・実用新案・意匠・商標・冒認商標)の取得に係る出願費用の一部を補助する。 ●補助率:1/2 ●上限額: ・1企業あたり:300万円 ・1案件あたり:特許 150万円/実用新案・意匠・商標 各60万円/冒認対策商標 30万円※模倣被害対策	<table border="1"> <tr> <td>外国出願支援企業数</td> <td>目標</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4件</td> <td>(特許)1件 (商標)2件</td> </tr> </table>	外国出願支援企業数	目標	実績		4件	(特許)1件 (商標)2件
外国出願支援企業数	目標	実績					
	4件	(特許)1件 (商標)2件					

取組内容
1 支援の対象 県内に事業所を有する中小企業者又は中小企業者で構成されるグループ(構成員のうち中小企業者が2/3以上を占める者)。ただし、みなし大企業を除く。 2 支援の主な要件 ①応募時に既に日本国特許庁に対して特許、実用新案、意匠又は商標出願済みであり、採択後に同内容の出願を優先権を主張して外国へ年度内に出願を行う予定の案件。 ②先行技術調査等の結果からみて、外国での権利取得の可能性が明らかに否定されないこと。 ③外国で権利が成立した場合等において「当該権利を活用した事業展開を計画している」又は「商標出願に関し、外国における冒認出願対策の意思を有している」こと。 ④外国出願に必要な資金能力及び資金計画を有していること。 ⑤収益増大を通じた雇用創出効果等の地域貢献が期待できること。(※当センター独自の選定基準) ⑥フォロー(査定状況)調査に協力しない事業者については、申請要件から外れることが明記される。(※今年度より) 3 補助対象経費 外国特許庁への出願料、国内・現地代理人費用、翻訳費用等 ①応募期間: 令和4年5月20日～6月20日(第1回) 令和4年8月9日～9月13日(第2回) ②応募件数: 4件(特許 2件、商標2件) ※計画 4件(特許 2件/商標 2件) ③採択企業数: 4社 ④採択案件数: 4件(特許 2件、商標2件) ⑤確定額(実績額): 567千円 (1)【商標】A社[四日市市]/152千円/米国 (2)【商標】B社[伊賀市]/313千円/米国・中国・韓国・香港 (3)【特許】C社[四日市市]/0千円/事業期間中に補助要件を満たさない国内出願の手続きがあったため。 D社は、特許1件は取下げ。

満足度調査・ヒアリング結果	評価された意見・寄せられた要望等
—	補助対象経費「0千円」のC社案件は、国内の審査過程でやむを得ず新たな出願をしなければならなくなったので、このような事案も支援対象となるよう要望を受けて、所管する中部経済産業局へ伝えた。

課題と対応方針、次年度展望
申請企業4社のうち1社は、他の関連事業の情報を活用して新規案件申請者の掘り起こしにつながった。引き続き、他の関連事業の情報活用及びINPIT三重県知財総合支援窓口との連携を進める。 本事業は、海外での事業展開は行っていないが、模倣対策としての特許、商標等の出願ニーズが高いことから、同様の事業者の抽出および本事業を活用した支援につなげる。

担当課	関係機関等
技術支援課	経済産業省 中部経済産業局

年度	番号	財源	事業名	事業費(単位:千円)	継続・新規
令和4年度	22	県・市	ものづくり中小企業DX推進事業	26,771	継続
			前年度事業名	事業費(単位:千円)	前年度比
			高度部材イノベーションセンター事業 技術・イノベーション開拓支援事業	23,597	3,174
年度	番号	財源	事業名	事業費(単位:千円)	継続・新規
令和4年度	23	県	先端産業分野等企業支援事業	8,906	継続
			前年度事業名	事業費(単位:千円)	前年度比
			同上	9,350	▲ 444

事業概要	実績		
1 ものづくり中小企業DX推進事業 コーディネーターによる相談対応等により、企業の技術課題、事業戦略の立案上の課題を発掘し、その課題解決を支援すると共に、DX関連の企業等によるネットワークを形成する。	1 課題解決件数	目標 24件	実績 24件 達成率 100.0%
2 先端産業分野等企業支援事業 環境・エネルギーなど先端産業分野に取り組もうとする企業の掘り起こし、フォローアップ支援を行う。	2 ネットワーク形成企業	25者	33者 132.0%
	3 セミナー等の開催	8件	10件 125.0%

取組内容
1 ものづくり中小企業DX推進事業 ・コーディネーターによる相談対応等により、企業の技術や事業戦略などの課題発掘を行い、もの補助・サポインなどの外部資金獲得支援、大学・公設試等との共同研究マッチング支援、産産での新製品・新技術開発等のためのマッチング支援等を行い、ものづくり企業の課題解決を図った。(課題解決件数:24件) ・県内企業における課題解決を支援するため、DX関連等の新たな分野での支援が必要な企業と産業支援機関、高等教育機関等の連携関係を新たに構築しながら既存ネットワークの充実を図った。 ○ネットワーク形成企業等:33社(令和4年度新規登録:12件) セミナー等の開催 ○マッチング支援セミナー 令和4年11月8日(参加者数:25名)、11月16日(参加者数:29名) ○MIESC北勢セミナー 令和4年9月8日(参加者数:21名)、15日(参加者数:21名)、22日(参加者数:19名) ○ユマニテックプラザ5者連携セミナー 令和4年9月29日(参加者数:83名)、令和5年3月14日(参加者数:7名) ○デジタル人材育成セミナー 令和4年10月27日(参加者数:13名)、令和5年3月15日(参加者数:7名) ○そのDX関連等セミナー 令和4年10月20日(参加者数:16名)、12月19日(参加者数:32名)、12月21日(参加者数:24名)
2 先端産業分野等企業支援事業 ・新たな研究開発や人材の確保・育成に取組む企業を掘り起こすための企業訪問や啓発活動を行い、訪問した企業で発掘した技術シーズ等により、産学官連携マッチングを進めた。 ・支援が必要な企業に対しては、国、県等の研究開発支援事業の活用等に向けた支援活動を行い、その後、フォローアップのため訪問も実施して、助言を行った。

満足度調査・ヒアリング結果	評価された意見・寄せられた要望等
セミナー満足度 ・非常に満足 53% ・満足 43% ・不満 4% ・非常に不満 0%	・DXの話なるほど!そういう事!などと「聞ける」講義で参加者は非常に納得できた内容だった。 ・講義、説明だけでなく、実演、実習があれば、セミナーの有効性・価値をもっと高められると感じた。

課題と対応方針、次年度展望
セミナーについては、参加者の意見を取り入れ、実演形式を導入した。今後、いただいた意見をさらに組込、参加者のニーズにより合致したものを目指したい。

担当課	関係機関等
中小企業支援課	雇用経済部 新産業振興課・四日市市 工業振興課

年度	番号	財源	事業名	事業費(単位:千円)	継続・新規
令和4年度	24	国	地域DX促進活動支援事業	7,560	新規
			前年度事業名	事業費(単位:千円)	前年度比
			-	-	-

事業概要	実績
<p>東海管内ものづくり企業はグローバル化に伴う世界的な競争にさらされており、デジタル技術による企業改革(DX)は喫緊の課題である。しかしながら、中小企業におけるデジタル活用はいまだ不十分な現状がある。</p> <p>このため、愛知県・岐阜県の支援機関との三者連携事業として、DX推進のノウハウや成功事例を共有化し、より効果的な企業支援として、伴走型支援・マッチング支援を進める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・伴走型支援 5者 ・マッチング支援 3社

取組内容
<p>1. 3県の連携</p> <p>あいち産業振興機構、ソフトピアジャパン(岐阜)と、定例的な会議(5回)、先進企業訪問(1回、大垣市)を行い、それぞれが進めている支援内容についての意見交換等により、ノウハウの共有化を図った。</p> <p>2. 伴走型支援(当センターの取り組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内ものづくり企業等における現場の見える化やデータ分析等の進捗を図るため、令和3年度DX寺子屋受講修了企業等を支援候補とし、各企業におけるDX推進の現状と課題及びニーズ等を調査を実施した。さらに、その中で、効果的な支援が可能なテーマおよび支援企業を選定し、伴走支援を実施した。具体的には、1社は、「生産管理のIT化」をテーマとし、ローコードツールを活用した受注～生産計画～製造～出荷の工程でのペーパーレス環境の整備促進、もう1社では、「検品の自動化」とし、画像認識技術の活用による検査の自動化に関するアドバイスをを行った。 ・また、別途、特に「ヘルスケア分野」においては、DXニーズを有する医療機関のDX化推進として、「医療機器管理システムの開発」を支援し、臨床工学技士が抱える課題に対して、ITベンダーによるソリューションが提供できた。 <p>3. マッチング支援(当センターの取り組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サポーターパートナーズ(ITベンダー)等の持つものづくり企業向けのITツールについて調査し、県内ものづくり企業への導入可能性を検討した。その中で、ものづくり企業への導入の可能性が高いと判断されたITツールについて、セミナーによるプレゼンテーションと個別相談を実施した。さらに、セミナーに参加した企業の中で、ITツールの導入に積極的な2社の企業に対して、ITツールメーカーをマッチングし、ITツールの導入支援を行った。 ・また、別途、特に「ヘルスケア分野」においては、介護施設、ものづくり企業、ソリューションを提供できるITベンダー、研究機関、弊所での連携体を構成しマッチング支援を行った。具体的には、介護施設がDXを推進するために必要とする見守りシステムの企画構想の策定と基本性能の検証を行った。

満足度調査・ヒアリング結果	評価された意見・寄せられた要望等
—	<ul style="list-style-type: none"> ・ローコードツールの活用についての伴走での支援は、実際に当社の社員がそれぞれでコンピュータを操作したので、聞くだけよりも随分効果があったと思います。ITツールを使うための準備もでき、最初の一步も踏み出したので、それを今後活かしていきたい。 ・実際の製造現場でのデータの記録の進め方、さらにそれを活用した不具合の予兆の把握、さらには、そのデータを解析して改善できるということがIT化の一つの肝になってくると思った。また、この取り組みにより、品質保証ができ、品質をアピールできること、顧客の安心につなげることができることを学ぶことができた。

課題と対応方針、次年度展望
<ul style="list-style-type: none"> ・ものづくり企業への伴走支援において取り組んだ生産管理・検査におけるIT化・自動化、マッチング支援においてITツールの導入については、さらに、助言等を通じて、生産の効率化につなげる必要があり、支援を継続的に支援していく。 ・ヘルスケア分野については、本事業で構成された連携体、共同体での協力関係を維持し、開発支援を継続する。

担当課	関係機関等
中小企業支援課	経済産業省 中部経済産業局

年度	番号	財源	事業名	事業費(単位:千円)	継続・新規
令和4年度	25	国	成長型中小企業等研究開発支援事業	2,618	新規
			前年度事業名	事業費(単位:千円)	前年度比
			-	-	-

事業概要	実績				
<p>県内中小企業の競争力を強化し継続的なイノベーション創出を目指し、経済産業省の中小企業を中心とした産学官連携体の補助事業「成長型中小企業等研究開発支援事業(通称:Go-Tech事業)」への取組を、事業管理機関として適切に管理運営する。</p> <p>技術支援コーディネーターらにより、終了案件のフォローアップ、新規課題の発掘と提案を実施する。</p>	<p>新規案件の適切管理：</p> <table border="1"> <tr> <td>目標</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>1件</td> <td>1件</td> </tr> </table>	目標	実績	1件	1件
目標	実績				
1件	1件				

取組内容	
<p>1 成長型中小企業等研究開発支援事業(Go-Tech事業)の推進 【中核企業】松井機工有限会社 【連携機関】中部大学、三重県工業研究所 【課題】ガンドリル・超音波クーラント援用システムによる低侵襲医療小径キーパーツの高精度微細加工技術の開発 事業管理機関として、初年度の契約から報告までを適切に行なった。また、研究開発委員会を2回開催し、事業を推進した。</p> <p>2 成長型中小企業等研究開発支援事業(Go-Tech事業)候補の発掘 技術相談コーディネーターらが、県内中小企業を訪問、研究開発動向を注視して、開発案件を発掘した。 その結果、R5年度事業に、3件の申請を行なった。</p> <p>3 終了案件のフォローアップ 事業管理機関として、終了案件についてのフォローアップ調査、報告等について、適切に対応した。 4件のテーマについて、中核企業、連携機関等に事業化状況等の調査を行い、報告書を取りまとめ、中部経済産業局等に報告した。</p>	

満足度調査・ヒアリング結果	評価された意見・寄せられた要望等
-	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度の事業報告に対して、全課題のうち、上位50%以内という高評価を頂いた。 ・中部経済産業局からも事業管理、証拠書類整備について一定の評価を頂いた。

課題と対応方針、次年度展望
<ul style="list-style-type: none"> ・実施中の案件については、引き続き、テーマ推進、研究開発委員会、中間検査、確定検査対応等を実施する。 ・本年度の申請案件については、事業管理機関として申請するとともに、採択の場合は、事業の契約から適切な推進を行い、不採択の場合は、ブラッシュアップを図り二次募集への応募等を検討する。 ・終了テーマについては、事業化状況の報告などフォローアップ調査等に対応する。 ・新規課題の発掘については、引き続き、県内中小企業を訪問、研究開発動向を注視して、開発案件を発掘していく。

担当課	関係機関等
技術支援課	経済産業省 中部経済産業局

年度	番号	財源	事業名	事業費(単位:千円)	継続・新規
令和4年度	26	市・自	化学・プロセス産業人材育成事業	5,222	継続
			前年度事業名	事業費(単位:千円)	前年度比
			同上	5,272	▲ 50

事業概要	実績
<p>企業の技術者を対象に、下記の人材育成事業を開催し、講義や実習による講座を実施する。</p> <p>①基礎知識・技術取得コース: 化学企業等において、工業化研究、プロセス開発および製造設備設計等に従事する、研究者や技術者を育成するための基礎講座を開催する。</p> <p>②安全・安定運転体験学習コース: 化学企業等において、プラント運転および設備管理等に従事する技術者や技能者等を育成するための体験学習講座を開催する。</p>	<p><講座科目></p> <p>①基礎知識・技術習得コース 9科目</p> <p>②安全・安定運転体験学習コース 3科目</p> <p><講座受講者数></p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標 25人 ・実績 31人 ・達成率 124%

取組内容
<p>1. 講座実施期間 令和4年8月～令和4年11月</p> <p>2. 受講対象者 化学関連企業等において、技術開発、プラント運転および設備管理等に従事する、新人から中堅の研究者、技術者および技能者を対象とした。</p> <p>3. 講座内容 以下の2コースからなる講座を開講した。</p> <p>①基礎知識・技術習得コース: 化学プロセスを構成する各種単位操作の基礎的内容の講義および演習からなる内容。</p> <p>②安全・安定運転体験学習コース: 三菱ケミカル社とENEOSマテリアル社が開発された化学プラントにおける不安全リスクに対応する、実技実習や実験を主体とする内容。</p>

満足度調査・ヒアリング結果	評価された意見・寄せられた要望等
<p><満足度調査結果> (令和4年度各科目平均)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・満足 58.8% ・やや満足 36.7% ・やや不満 3.4% ・不満 1.1% 	<p><評価された意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・私は化学工学を専攻しておらず、基礎的な知識についても自信がなかったが、初回から、基礎的な知識を含め説明して頂けたので非常に有難かった。 ・化学工学を全体的に学び直すのにとっても良い機会だと感じる。 ・講座のペース、内容とも満足のいく内容だった。岩田先生の講座は構成が分かりやすく、今何を学んでいるか意識しやすい。澤田先生は実務経験があり、実際に現場でどのように役立ったか伺えるのが良かった。 <p><寄せられた要望></p> <ul style="list-style-type: none"> ・Excelでできる計算は簡単な確認に留め、解答の方針や、数値代入では解けない(線図など)ような部分を重点的に説明して欲しい。

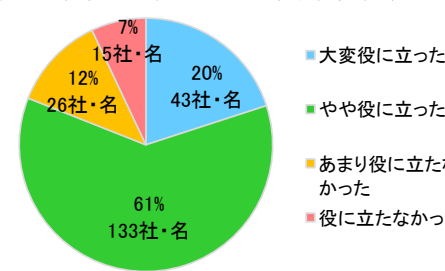
課題と対応方針、次年度展望
<p>・今年度は、PCを用いた演習を含む科目以外はずべてリモート講義形式とした。WEB配信上のトラブル等もなく、円滑な運営をすることができた。実習主体の講座科目は、例年通り委託先企業と綿密に連携し、特段の問題が発生することなく終える事ができた。</p> <p>・R5年度は、講座の内容は昨年度のものを踏襲予定。また、コロナの後の状況をみつつ、委託先企業と協議し、中断をしていた対面形式の講座でのグループ討議や減縮していた定員の復活等を検討したい。</p>

担当課	関係機関等
中小企業支援課	四日市市 工業振興課・自主事業

年度	番号	財源	事業名	事業費(単位:千円)	継続・新規
令和4年度	27	県	地域活性化雇用創造プロジェクト事業	90,407	継続
			前年度事業名	事業費(単位:千円)	前年度比
			同上	84,884	5,523

事業概要	実績
<ul style="list-style-type: none"> 厚生労働省採択事業として、令和4年度からの3か年プロジェクト(第3期)の初年度 全20事業に対し11事業を三重県産業支援センターが担当 「多様な人材の活躍による人手不足分野の解消」と「中小・小規模企業における高度・専門人材の不足解消」との大きく2つの事業テーマがあり、各事業テーマに対し、企業・事業主向け支援、求職者・労働者向け支援、就職促進支援を目的に事業を構成し、雇用を創出する 	①アウトプット(事業参加企業数または参加人数) 目標:1,482社・名 → 実績:3,531社・名(達成率:238%) ②アウトカム(良質雇用創出数) 目標:195名 → 実績:217名(達成率:111%) 【良質雇用の条件】 1)就労期間における所定内給与額の1ヵ月当たり の平均額:219,7千円以上 2)月平均所定外労働時間:20時間以下 (※)目標値・実績値は全事業

取組内容	
1【事業推進・基盤整備事業】 ①プロジェクト運営・ネットワーク構築事業 <ul style="list-style-type: none"> ・推進メンバー11名(リーダー:1名,コーディネーター:9名,事務職員:1名) ・プロジェクト推進協議会総会:6月17日開催(ホテルグリーンパーク津) ・賛助会員数:603社(製造業:338社、各種サービス業:96社、卸小売業:67社) ・広報活動:HP開設、パンフレット4,000部・各事業チラシ配布、SNS等 ・経済団体、金融・教育機関、職業安定所、市町村へ協力依頼:70団体 ・企業・求職者アンケート調査の実施:年2回(11月、3月) 	
2【多様な人材の活躍による人手不足分野の解消】 ①企業向け働き方改革取組推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・「多様で働きやすい職場づくり」セミナー&交流会(10/14)参加企業:74社 ②外国人受入体制構築事業 <ul style="list-style-type: none"> ・雇用ON-LINEセミナー&個別相談会(各6回)参加企業数:179社 ③女性の就職支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・セミナー、e-ラーニング、キャリアカウンセリング、交流会 参加者:252名 ④外国人の就職支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・セミナー、インターンシップ、web合同企業説明会、就職相談会等 参加者:272名 ⑤地域企業就職促進交流事業 <ul style="list-style-type: none"> ・web合同企業説明会、交流会 参加企業:32社、参加者:349名 ⑥参加型企業情報発信事業 <ul style="list-style-type: none"> ・「みえの企業まるわかりNAVI」WEB掲載 30社 	
3【中小・小規模企業における高度・専門人材の不足解消】 ①高度人材育成支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・補助金(上限10万円、補助率1/2) 参加企業:24社 ②高度ものづくり技術人材育成事業 <ul style="list-style-type: none"> ・講座(軽量化技術4回、製造技術高度化3回)、専門家派遣 参加者:279名 ③コピートプラント運営人材育成事業 <ul style="list-style-type: none"> ・講座(6回) 参加者:550名 ④高度・専門人材県内就職促進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・web合同企業説明会、座談会 参加企業:25社、参加者:182名 	

満足度調査・ヒアリング結果	評価された意見・寄せられた要望等
◆調査対象数:217社・名(企業数、求職者数)  <ul style="list-style-type: none"> ■大役に立った ■やや役に立った ■あまり役に立たなかった ■役に立たなかった 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様化する人材の確保のすべや働き方など、自社以外の立場での意見が聞ける場があり大変助かっております。 ・求職者に対してダイレクトに弊社の魅力を伝えられる場をご提供いただき大変ありがたく思っています。 ・他企業の事例を色々知ることができ、自分達の認識の甘さを感じました。 ・e-ラーニングは子供の就寝後に行うことができ効率的に学ぶことができました。次期もできることなら違う項目で学びたいと思いました。 ・どうしても前職の職種に目が行きがちなのですが、気軽に参加できた事で全く経験のない職種の話を聞く機会になった事はとても良かったです。 ・求職者との接点を持つイベントを企画していただけると助かります。 ・専門的能力を持つUターン人材をご紹介いただければ幸いです。 ・三重県の企業の採用情報をもっと知りたいです。

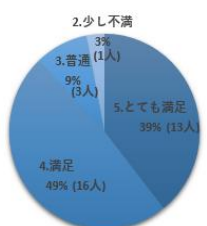
課題と対応方針、次年度展望
<ul style="list-style-type: none"> ・賛助会入会企業は600社を超えるまでになったが、実際に本プロジェクトの事業を活用した企業は300社にも届かなかった。事業を活用しなかった理由は企業により異なるが、事業を提供する側としては、各事業内容に関して、今以上に魅力的で時代の流れに沿った企画を立案し、実施していかなければならない。 ・プロジェクトは今年度で7年目となったが、企業や求職者からもっと早期に事業を知りたかったという声はまだ多く、ネットワーク構築に課題が見受けられる。推進協議会メンバーである経済団体、教育・金融機関、労働局や市町村等に対しさらにコンタクトを密にして広報活動を強化していくと共に、求職者に対してはSNS等のツールを積極的に活用していく。 ・コロナウイルス感染症による影響がなくなりつつある来年度以降は、対面活動を重視し企業や求職者により強く寄り添える活動にシフトしていきたい。

担当課	関係機関等
経営支援課	雇用経済部 雇用対策課

年度	番号	財源	事業名	事業費(単位:千円)	継続・新規
令和4年度	28	県	カーボンニュートラル実現に向けたDX寺子屋事業	9,917	新規
			前年度事業名	事業費(単位:千円)	前年度比
			-	-	-

事業概要	実績
<p>DX時代を生き抜くためのDX読み書き(データの集め方・見方)とDXそろばん(データの使い方)が習得できる「DX寺子屋」を経営者向けコースと現場改善コースに分けて、計24回開講する。</p> <p>今年度は、国際的に課題とされているカーボンニュートラルを取り上げ、単に省エネにとどまらない、炭素排出量削減をめざしたDXの取り組みを講座に取り入れた内容としている。</p>	<p>・講座受講者数 中小企業経営者向けコース 12社18名 中小企業工場の現場改善コース 14社28名</p>

取組内容
<p>・講座の実施期間 令和4年7月から令和4年12月まで(6か月間) (90分/回、月2回程度)</p> <p>・実施したコース ①中小企業経営者向けコース(対象:経営者) 12回 ②中小企業工場の現場改善コース(対象:現場責任者) 12回</p> <p>・講座内容(基本的内容は、コースによる違いはなし)</p> <p>第1回 7月20日 オリエンテーション 第2回 8月 3日 カーボンニュートラルとDX 第3回 8月24日 DX化実習のポイントと実践方法の説明 第4回 8月31日 DX化を自分事として取り込む方法の紹介 第5回 9月14日 工場の生産性を上げる指標の作り方 第6回 9月28日 現場カイゼンと経営カイゼンを一体化する方法 第7回 10月 5日 特別講演(江崎 浩 東大GUTP代表(東京大学大学院教授)) 第8回 10月12日 カーボンニュートラル by DX 事例紹介 第9回 10月26日 グループ学習 第10回 11月 9日 グループ学習 第11回 11月30日 グループ学習発表 第12回 12月14日 まとめ(サイバーセキュリティ、講義)</p>

満足度調査・ヒアリング結果	評価された意見・寄せられた要望等
<p><満足度調査結果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・とても満足 39% ・満足 49% ・普通 9% ・少し不満 3% ・不満 0%  <p>■5.とても満足 ■4.満足 ■3.普通 ■2.少し不満 ■1.不満</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・色々勉強になり、参加して良かった。今回の勉強を活用できるよう社内へも展開していきたい。 ・DXは縁遠いものだと思ってたが、この講座を通じて身近に感じる事ができた。 ・考え方からデータの取り方、実現の仕方等丁寧に教えてもらった。正の相關など忘れていたグラフなどを工場の運用として考えるという事、改めて勉強になり、選択肢を増やせた気がする。 ・現場改善コースの対象者をもっと明確にした方が良い、私は工場長だが、少し物足りなさも感じた。

課題と対応方針、次年度展望
<p>・DX寺子屋を受講した企業に対して、習得されたDX読み書き(データの集め方・見方)とDXそろばん(データの使い方)を現場で活用を促進するために、支援を続ける。</p>

担当課	関係機関等
中小企業支援課	雇用経済部 新産業振興課

年度	番号	財源	事業名	事業費(単位:千円)	継続・新規
令和4年度	29	自	三重ものづくり改善インストラクター養成塾事業	2,640	継続
			前年度事業名	事業費(単位:千円)	前年度比
			同上	2,508	132

事業概要	実績
<p>県内ものづくり企業における強靱な現場づくりを進め、企業間競争に打ち勝つための生産革新を推進する指導者(インストラクター)の育成を行う養成塾を開講する。受講後は、受講生が各所属企業において、「よい設計・よい流れ」に向けた活動を実践し、企業の体質改善を主導する。</p> <p>(本年度で当養成塾は8期目であり、70名を超える過去の受講生はシニアインストラクターとして、各企業における普及活動に従事している。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者数(企業現役) : 11名 (目標: 10名) ・受講者数(支援機関) : 0名 (目標: 1名)

取組内容

ものづくり企業の中核的リーダークラスの受講生に対し、基礎理論の座学に加え、製造現場の課題解決を望む県内中小企業等の現場を通して実務としての改善活動を行う事でインストラクター養成を行った。

開催期間 : 令和4年10月14日～令和5年1月13日

13日間(座学:6日間 現場実習:7日間)

開催場所 : 座学:四日市市三浜文化会館(四日市市海山道)

現場実習: 県内ものづくり企業

受講者 : 企業の製造現場の中核的リーダークラスの社員(現役) 合計11名

受講料 : 受講料: 24万円/人

内容 : 講義: 概論(ものづくりの基礎概念、競争力と企業パフォーマンス、他)開発設計、IE理論、品質管理手法(原価低減、VA/VE、コストと生産性、動線、動作分析、VSMでの分析等)

現場実習: 現場分析とグループ討議、改善/改良案の施策検討、改善案の提案(処方箋)

講師 : 東京大学ものづくり改善インストラクター修了生、三重ものづくり改善インストラクター修了生他



満足度調査・ヒアリング結果

受講生アンケートから	
養成塾の内容: 優れている	55%
やや優れている	45%
満足度	
: 満足	73%
やや満足	27%
今後の紹介は: 是非紹介	73%
可能性あり	18%
可能性が低い	9%

評価された意見・寄せられた要望等

- ・現場実習では座学で学んだ改善の活用で、知識の定着と理解につながった。
- ・中小企業が利益を上げる為には改善改革が必要な事が良く分かった。
- ・当初は不安感が有ったが、無事終了出来た。この事を社内へ展開し、社内の効率化を図っていきたい。

課題と対応方針、次年度展望

- ・次年度はコロナの影響も少なくなることから、早めの開校と年末までの終了を検討する。
- ・東京大学MKN(ものづくり改善ネットワーク)から、評価も高く、他のスクールからの支援要請もあることから、対応を検討する。
- ・R5年度に向けて、R4年度の内容を吟味し、講義内容や講師の選択、受講生確保課題を検討する。

担当課	関係機関等
中小企業支援課	自主事業

年度	番号	財源	事業名	事業費(単位:千円)	継続・新規
令和4年度	30	県	中小企業支援センター等事業	152,382	継続
			前年度事業名	事業費(単位:千円)	前年度比
			同上	148,819	3,563
年度	番号	財源	事業名	事業費(単位:千円)	継続・新規
令和4年度	31	県	中小企業特定支援等事業	797	継続
			前年度事業名	事業費(単位:千円)	前年度比
			同上	4,089	▲ 3,292
年度	番号	財源	事業名	事業費(単位:千円)	継続・新規
令和4年度	32	自	工業技術振興事業	6,985	継続
			前年度事業名	事業費(単位:千円)	前年度比
			同上	9,072	▲ 2,087

事業概要	実績																				
中小企業・小規模事業者の抱える課題の解決に向けて、専門性を持つコーディネーターの適切な配置や相談対応、専門家派遣やマッチング等の必要とされる支援を行うとともに、支援を行う職員のスキルアップを図る。また、他の支援機関と連携し、事業者には有益な情報提供や支援を行う。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>目標</th> <th>実績</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 専門家派遣件数</td> <td>28回</td> <td>10回</td> <td>35.7%</td> </tr> <tr> <td>2. 中小企業支援担当者向け研修等への参加</td> <td>2回</td> <td>7回</td> <td>350%</td> </tr> <tr> <td>3. FMラジオ放送回数</td> <td></td> <td>7回</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(R4年10月～R5年2月)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		目標	実績	達成率	1. 専門家派遣件数	28回	10回	35.7%	2. 中小企業支援担当者向け研修等への参加	2回	7回	350%	3. FMラジオ放送回数		7回				(R4年10月～R5年2月)	
	目標	実績	達成率																		
1. 専門家派遣件数	28回	10回	35.7%																		
2. 中小企業支援担当者向け研修等への参加	2回	7回	350%																		
3. FMラジオ放送回数		7回																			
		(R4年10月～R5年2月)																			
取組内容																					
<p>1 国や県などの各支援メニューの特徴、優位性を把握し、個々の企業の経営戦略に応じた適切な支援を実施した。</p> <p>2 中小企業等が抱える経営課題を解決するため、幅広い分野における登録専門家から専門性を考慮し、企業に派遣した。</p> <p>3 FM三重ラジオ放送において県内の頑張る中小企業・小規模事業者を広く紹介するとともに、センターの認知度を向上させ、活用を促すためにラジオ番組「まる三重！企業発見伝！～キラリと光る三重の企業～」の放送を行った。</p> <p>4 異業種交流の機会を提供し、県内産業の発展を目指すため、「三重ハイテクフォーラム」と「三重県異業種交流グループ連絡協議会」の運営を行った。</p>																					
満足度調査・ヒアリング結果	評価された意見・寄せられた要望等																				
—	—																				
課題と対応方針、次年度展望																					
<ul style="list-style-type: none"> ・今後もより多くの企業が活用できるよう専門家派遣やコーディネーターの経営相談や技術支援を継続していく。 ・オンラインによる支援やDXを活用した幅広い支援を実施していく。 																					

担当課	関係機関等
総務企画課・庶務経理課	雇用経済部 中小企業・サービス産業振興課・自主事業

年度	番号	財源	事業名	事業費(単位:千円)	継続・新規
令和4年度	33	自	特別情報提供事業	1,619	継続
			前年度事業名	事業費(単位:千円)	前年度比
			同上	1,653	▲ 34

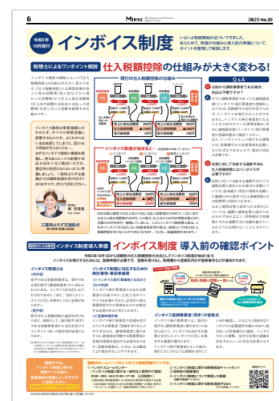
事業概要	実績												
県内中小企業に対して、行政等の多様な支援策に関する情報や事業者には有益な情報を提供することが重要であるため、継続的に情報提供を行う。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>目標</th> <th>実績</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 メールマガジン発行 (毎月10・20・30日 3×12)</td> <td>36回</td> <td>39回(臨時号含む)</td> <td>108.3%</td> </tr> <tr> <td>2 広報紙発行</td> <td>3回</td> <td>3回</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>		目標	実績	達成率	1 メールマガジン発行 (毎月10・20・30日 3×12)	36回	39回(臨時号含む)	108.3%	2 広報紙発行	3回	3回	100%
	目標	実績	達成率										
1 メールマガジン発行 (毎月10・20・30日 3×12)	36回	39回(臨時号含む)	108.3%										
2 広報紙発行	3回	3回	100%										

取組内容

- 各種セミナーや補助金に関する情報を当センター内の事業に限らず、広く情報収集を行いメールマガジンやホームページを活用して情報提供を行った。
- 2月3回のメールマガジンを定期配信するとともに、場合によっては臨時配信を行うなどの柔軟な情報提供に努めた。

広報紙『Miesc』

広報紙内告知(中小企業向け)



満足度調査・ヒアリング結果	評価された意見・寄せられた要望等
—	—

課題と対応方針、次年度展望

- ・メールマガジンや広報紙を活用して、行政等の多様な支援策に関する情報や、事業者には有益な情報の提供を行う。
- ・特別情報会員に対する特典メニューを充実させ、新たな会員獲得策の検討を引き続き行う。

担当課	関係機関等
総務企画課・庶務経理課	自主事業

年度	番号	財源	事業名	事業費(単位:千円)	継続・新規
令和4年度	34	県・自	法人会計事業	22,201	継続
			前年度事業名	事業費(単位:千円)	前年度比
			同上	20,909	1,292

事業概要	実績		
評議員会、理事会の開催等、公益目的事業、収益目的に属さない財団の管理業務や財団全般に係る業務を行う。	目標	実績	達成率
	評議員会	1回	100%
	理事会	3回	100%

取組内容
<p>評議員会、理事会等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年5月2日 書面による評議員会 令和4年5月31日 事業監査 令和4年6月6日 第1回理事会 令和4年6月20日 定時評議員会 令和4年6月20日 書面による理事会 令和4年10月5日 事業監査 令和4年10月25日 第2回理事会 令和5年2月13日 書面による評議員会 令和5年3月9日 第3回理事会

満足度調査・ヒアリング結果	評価された意見・寄せられた要望等
—	—

課題と対応方針、次年度展望
評議員会・理事会の開催等、財団の管理運営業務や財団全般に係る業務について適切な運営を行う。

担当課	関係機関等
総務企画課・庶務経理課	雇用経済部 中小企業・サービス産業振興課・自主事業